京城日報

十二日夕刊

定價 發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社 電話編輯部三四五番 營業部二二四番 發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介

汽車時間表（七月十日改正）

砲兵工廠を朝鮮に 設置の場所は平壌附近か

砲兵工廠支廠を朝鮮に設置すべしとの説は工廠の事業擴張の當時一度唱せられし所なるが陸軍當局は二個師團常設と共に愈々其の必要を認め來年度の新事業として着手する事に評議一決せり設置の場所は秘密に附し居るも多分鐵道及び海運の便あり兼て石炭鐵の産地なる平壌附近なるべし（東京特電）

米航獨潜艇は商船か 米國は武装無きより商船と見做す

バルチモーア港外に投錨したる獨逸潜航艇ドイッチランド號は北獨逸ロイド汽船會社の所有船にして何等武装なきより米國官憲は之を普通の商船として取扱ひ居れり艇長の談に據れば六月十四日ブレーメンを出帆しヘリゴランド島に寄港し同二十三日同島を出發せり航程四千海里を十六日にして航海せるものにして其の中約千八百海里は潜航せりと搭載せし染料は約七百五十噸にして此の外サルバルサンを初めとして多量の輸入品を搭載し居れり歸港の期日は未定なるも約二週間位碇泊し其の中適當の機會を覗ひて出發するならんと（紐育電報）

米國の借款團割込歡迎

華盛頓來電に曰く米國政府は更に米國銀行家に對し六國借款團脱退を勸めたるに今や再び割込を歡迎すべき旨を申遣せり斯くて米國政府は對支那借款を全然變更するに至れり（倫敦電報）

愛蘭自治制案提出 聲明

英國首相アスキス氏は下院に於て聲明して曰く政府は直ちに愛蘭自治制法案を提出すべし但し氏の法案は一時的性質のものなり政府は之に依り愛蘭に即時自治政を施行し議會を建設すべし但アントリム、アーマー、ダウン、アーマナ、ロンドンデーリー、チロター六州を除外すと（倫敦電報）

蒙匪三千南下す

蒙古の匪魁巴布札布は宗社黨の名を以て精兵三千を率ゐ海拉爾より南下し洮南の北に出でんとし蒙人中歸服する者多きに依り張奉天省督軍は黑龍江省督軍に其の討伐方を電照せり（奉天特電）

奉天地方尚ほ不穏か

奉天地方不穏の爲め當分戒嚴令を解かさる可しと（奉天特電）

張奉天督軍兼省長

大總統令に依り張奉天將軍は奉天督軍兼奉天省長に新任されたり此れに對し張氏は此擧は南北統一の大局に關係あり奉天督軍、奉天省長の名稱離有御受申す旨を即日答復したり因に奉天軍務幇辦たる馮麟閣氏の身上には何の異動なく引續き舊職を執る可しと（奉天電報）

咸南出水

十日咸鏡南道に豪雨あり三水郡地方最も激しく十一日は中坪塲に於て五十三戸の家屋浸水し成興面には六名の死者を出せり郡種苗塲は七分通り砂際に埋れたるが尚ほ橋梁の流失、家屋の崩壊等被害尠からざるものゝ如き旨十一日午後八時咸南道長官より總督府に電報ありたり

降雨と慶北農作

過日來の降雨にて慶北に於ける春播麥作の被害少なからざりしが水稻は南水利澤の爲め却て豊作ならんと豫想されつゝあるも此後天候回復の見込も立たず氣候不順なる場合には浸水の爲め稻苗發育の枯凋を來し收穫時には多少の減收を免れざる可しと

半休中の長官會議

總督府定例長官會議は何造か、今□□同開催し來りたるが夏期半休中は毎週火曜日の一回となし金曜日は休會に決せり

石塚長官出張

農商工部長官石塚英藏氏は村田鑛務課長を隨へ十四日朝南大門驛發汽車にて搭乘洗浦に向ひ蘭谷里の牧塲を視察の後元山經由咸興に赴き新興千佛山に於ける總督府直營の金鑛試掘状況を視歸途釋王寺に於ける養蠶塲を訪うて十九日歸任の豫定なり

宇佐美長官出張

内務部長官宇佐美勝夫氏は倉橋試補を隨へ十三日朝京城出發春川に赴き地方行政事務を視察の筈なり

白水少將歸任

駐劄憲兵隊長白水陸軍少將は六月十八日龍山出發咸鏡南道、平安北道の各部隊巡閲を終り豫定よりは一日を早め十日午後七時十五分龍山着歸任せり

十九師團副官會議

第十九師團副官會議は十二日より師團司令部にて開會十三日を以て終了の豫定なり

將校乘馬檢査

駐劄軍司令部附副官千輪大尉は曩に管下各部隊の將校乘馬檢査の爲め各地へ出張中の處十日忠州より歸任し之にて龍山を除く全部隊の檢査を終りたり龍山部隊檢査期日は未定なれど何れ近日中施行の筈なりと

松浦大尉赴任期

駐劄軍司令部附參謀課より參謀本部附に轉補せる松浦大尉は白水參謀長に隨伴北鮮地方の檢閲を終り十日午後歸任せるが殘務の整理を終り來月中旬出發赴任の豫定にて出發期日に就き目下參謀本部に照會中なりと

安東參事出張

遞信局大阪出張員派遣事務に就き安東參事は伊藤書記を伴ひ今明日中に龍山出發大阪へ赴き急て活動寫眞及び幻燈映寫を爲し約一箇月の後歸任すべしと

村瀬參事轉職

朝鮮鐵道局營業課勤務副參事村瀬鎌次郎氏は今回滿洲運輸會社に入社の事と成り近々出發内地に赴任の筈なりと

村瀬氏送別會

朝鮮鐵道局營業課有志は村瀬鎌次郎氏今回辭任來る十八日午前八時三十分南大門發列車にて東上の事に決定したる爲め諸會社、銀行の代表者及び各商團通信社長等の發起にて十六日午後六時より花月に於て盛大なる送別會を開く可しと因に會費は金五圓當日持參の事也と

京城局の補修工事

京城郵便局は京城の中央局としての内容及び外形を整へんため曩に三十萬圓を投じて廳舍の新築を行ひたるが尚ほ備品整理を行ふの必要ありとし客月來より工事中なるが目下工事の進捗程度は新舍の電話交換室及び配電盤室等を擴張し交換手控所を表側の階上及び階下に移したると別に工夫郵便夫控室倉庫等を設けたるが更に構内の一部には小規模の運動塲をも設くる筈にて尚ほ將來南大門驛との遞送車を自動車に變更する場合に至るとも充分之を使用し得るの設備を爲したりと

學務委員の任命

京城公立普通學校の學務委員（鮮人）は今回任期滿了せしにより新に三十餘名の同委員任命されたるが十四日午後一時半京城府にて辭令の交附式を行ふ由

公立學校長打合會

京城學校組合は十二日午後一時半より各公立學校長を召集し夏季休暇中に於ける各般の打合を爲し三時散會せり

客月京城商況

米價は内地相場引續き不味なるに反し當地に於ては南鮮地方の水害を氣構へ強硬の氣配を示したるため移出行はれずして只精米筋當用口の手合ありしに過ぎず大豆は出廻を見るに從ひて賣行良好となり牛皮亦露國長靴彈藥盒等軍需品の製作のため元來夏季原料品海の折柄に拘らず原料牛皮の出廻引續き殷賑にして相場も昂騰したりしに下旬に入り露國筋大注文取消の噂あり爲に氣配稍軟調に陷りたり又前月頃迄相場の下落を見たりし重石は其後價額保合ひしため本月に於ても引續き相當の移出ありたり

▲輸移入品商状 次に輸移入品を見るに麻布其他夏向品は時節柄なれども夏枯閑散の期節にして一般商品の賣行捗々しからざるに本月は降雨勝なりし爲一層閑散の度を加へ市況寂寥を極めたり只綿絲は近時鮮内各地方に小機業者發生するありて閑散期に拘らず相應の賣行を見たり而して内地綿業者は支那南洋印度方面への綿布輸出盛となりしを以て同方面輸出向品の製造を專業とし自然朝鮮向品は供給減少を呈したるがため價格は昨年度當時に比して一般に騰貴し粗布の如き一梱に付き七圓餘の上騰を示し鮮人問屋筋に於ては先高を見越し秋口需用に對する仕入を爲すものありて多少の賣行を見たり

▲六月貿易額 今京城税關出張所に於て取扱たる同月中の當地貿易額を見るに之を前月に比すれば輸移出に於て四萬一千餘圓を増加し輸移入に於て十三萬六千餘圓を減退せり更に之を前年同期に比する時は輸移出に於て十四萬二千餘圓輸移入に於て十三萬七千餘圓の各増加を示せり

露國新規定

露領西伯利亞東部ヤクーツク地方に於ては近來各種の貨物非常に缺乏せるを以て之れが救濟の爲め露國政府は這般左の趣旨の新規定を發布したる旨今回露國官憲より總督府へ通知ありたり

ヤクーツク州（東部西伯利亞）に輸入せらるゝ貨物無税通過に關する露國新法律は酒精飲料品を除きコリマ河口を經て同州に輸入せらるゝもの及び同河口より東方の同州海岸に輸入せらるゝ貨物を含む

野田副總裁 北鮮視察に赴く

野田東拓副總裁は咸鏡道方面視察の爲め十一日元山に向へるが咸興迄は旅行の事確定しゐたるもそれ以北は旅行先の都合にて如何に行程をとるか未定從つて歸京期も不定なりと

鈴木東拓監理官

東拓監理官鈴木土地調査局長は十二日午前十一時五十分東拓に臨み樓上監理官室に入り吉原總裁外各理事に付社務の狀況を聽取せり

東拓七回移民好況

東拓第七回移民應募狀況を聞くに其後個人及び團體申込み相踵ぎ最近の調査累計四百戸に及び第二種移民は八十戸に對し十戸を數へ居れり尚ほ之れを昨年に比すれば況頗るよく殆んど其應募狀況倍數に達し居れりと

◉兩社出退時刻改正 東拓は十一日より午前八時出勤正午退出となり朝鮮郵船は午前八時出勤午後四時退出乃ち出勤及び退出時刻を各一時間早めたり

鍾路夜市開塲認可

趙重應、白完爀、芮宗錫の諸氏によりて請願中なりし鍾路夜市（鍾樓附近一圓）は愈々十二日其筋より認可の指令に接したる由なるが其目的とする所は市街の殷賑に加ふるに内鮮の和親協同を圖らんとするためにして設立者側は既に諸般の準備を整へ居れば兩三日中に開塲の見込なりと

奬工會社創立準備

東洋奬工會社の創立に就ては目下工友倶樂部内に於て着々進行中なるが創立事務所よりは三浦氏を各地に派遣し賛成者等の意嚮を徴したる上今月末又は來月早々同氏の歸任を俟つて發起人總會を開く筈なりと

仁川商議評議員會

仁川商業會議所評議員會を豫報の如く十一日午後二時より同所内に開會奥田大石武田坂倉稻田中山安保田中川井田美濃谷白神北島茂木全孫丁沈の諸議員出席し定刻に至るや奥田會頭議長席に著き直に日程第一の官立商船學校設置請願の件に入りたるが右は仁川に於ける重要問題として慎重なる審議を重ねしが結局奥田會頭に一任する事とし夫れより日程進み第三會計年度更正の件及び第二定款變更の件を議決する筈なりしが當日出席議員數は定員の三分の二に滿たざるを以て決議する能はず止むなく奥田議長は流會を宣言し解散となれり時に午後三時四十分なりし

電報延著

山陽道地方豪雨の爲め大阪下關間電信線に故障を生じたるを以て同線に由る電報は一般に延著すべし

銀鑛發見は虚説か

水原附近に銀鑛發見され三井と大倉とにより其の買收價格を四十萬圓に釣上げたりとの説あるが右に付三井物産京城支店當局者は一兩日來三井が水原の新發見銀鑛買收を試み居れりと云ふは跡方もなき妄説にて實に寢耳に水なり三井は其の銀鑛の發見されしや否やさへ何等聞く所なし第一水原方面に銀鑛脈の存在は頗る疑はしからずやと語れり

元山

▲元山農況 咸南に於ける本年の農作物は各地共一般に成育良好なるが就中元山地方は本年は降雨比較的尠かりしと雖も適順に經過したる爲め農作物中特に大豆の發育佳良にして麥又可なり稻は客月中を以て全く移植を終りたる馬鈴薯は平年作にて客月下旬より收穫されつゝあり ▲元山漁況 元山近海漁業界は毎年七八の兩月を以て漁獲一段落を告ぐるを例とせるが本年は盛漁期と雖も頗る漁獲不振又延繩の如き餌不足の爲め全く休漁の状態に陷り一層靜寂を呈し爲めに漁業關係者は言ふまでもなく一般市況に及ぼす影響も實に尠からざるものあり ▲元山里學校長異動 元山里公立普通學校長關秀氏は咸興普通學校訓導として轉勤を命ぜられ同時に元山普通學校長齋藤角治氏は全羅南道古阜普通學校長に轉任と決し兩氏とも近々赴任の筈

仁川

▲仁川府納税成績 仁川府にては府住民負擔の輕減を圖る爲め專ら經費の節約に注ぎ係員は廢休事務に鞅掌し經理上些の遺憾なきを期せんとするも當局者の苦心未だ徹底せざると共に地方制度改正前の餘弊全く脱却せず已むを得ず督促狀を發付し間々滯納處分を執行する場合に遭遇するは實に遺憾とする處なり今試みに大正五年度第一期戸別税營業税にして六月迄に納付せざる爲め七月一日に督促狀を發布せられたるもの合計二千二十八名此督促手數料二百二圓八十錢は全く怠慢の爲め徴收せらるゝものにして納税者の不利は勿論之が爲當局者の手數は實に容易ならざるものあり尚本月よりは督促出張員に於て税金を領收せざる事となしたる趣なり ▲仁川消防隊刷新 仁川常備消防隊にては今般同隊の特獨考案になれる輸送式水管車一臺を増備し尚新に蒸汽喞筒吸管一個を購入し同時に從來の定員内地人九名を七名に減員し鮮人二十七名を三十名に増したる上松元署長及び山賀係長熱心に訓練し居れり因に目下入院中の池邉消防手に對し仁川警察署員一同醵金の上寄贈したり ▲官廳半休 定例により仁川各官公衙は十一日より九月十日迄半休とし毎日午前八時より正午迄勤務することゝなれり ▲下村十八支店長 十八銀行仁川支店長森常吉氏と交迭したる下村元釜山同行支店長は十二日著任したり

光州

▲金融組合理事會議 全南金融組合理事會議は十日午前九時より道第二部長統裁の許に開會されたるが出席者二十三名にして諮問事項の答申ありて第一日を終りたるが十一日も同じく十二日は事務打合せ及び農銀事務打合せ十三日は農銀事務打合指示訓示ありて會議を終る筈なるが宮木長官以下道係員浦野警務部長等も臨席せり ▲安原聯隊長檢閲 大邱第八十聯隊長安原大佐は十日入光十一十二日第八中隊の檢閲執行十三日出發歸邱の筈

大田

▲手工教授 大田公立普通學校にては手工教授研究中なりしが第一著に木工を課する事とし其筋に出願中六月に入り認可ありたれば直に準備に著手し九月上旬より開始する筈 ▲水害慰撫 大田金融組合にては先般水害の節新灘津組合員十五名中被害者ありたるを以て佐藤理事は出張し組合員を慰撫すると同時に被害甚しき九戸に一戸五十錢割に撫恤金を贈與せり

大邱

▲商議役員認可申請 大邱商業會議所は過日選擧せし會頭、副會頭、常務委員の認可申請を十二日總督府に申達せり ▲商議評議員會 大邱商業會議所は過日の總會に於て大正五年豫算を委員附託となし其後精細に調査する所あり約九百餘圓の削減を加へ十三日午後一時より同所に於て評議員會を開き是を附議す ▲朝鮮輕鐵招宴 朝鮮輕便鐵道株式會社事業準備進捗に付き十一日社長本田日元學氏來邱十二日午後七時より官民有志を大和に招聘し酒宴を張れり

釜山

▲釜山の祝賀會 日露協約發表せられたるを以て釜山府にては是が祝賀の爲め官民合同の一大祝賀會を催ふすことゝ決定し若松府尹及び大池忠助、迫間房太郎、香椎源太郎、芥川、高木兩新聞社長等之が發起となり十三日午後六時より同地方千閣に於て開催の筈なるが當日は正賓として釜山駐在副領事スコロヅーモフ氏を招待すべし ▲新任檢事發著 今回釜山地方法院檢事より公州地方法院檢事正に轉任せし森浦藤藏氏は來る廿日頃赴任すべく又新任同法院檢事淺田顯氏は來る廿三日頃著任すべし ▲電車延長工事 朝鮮瓦電會社にて經營に係る釜山郵便局前より同社發電所附近に至る市内電車の延長工事は近日中に著手の筈なるが同工事の竣成は來る九月下旬頃なるべしと ▲釜山土産審査 釜山實業會に於て協議せし釜山土産の選定に付十二日午後七時より委員數名は商工倶樂部に會合し之が選定に付協議したり

人事消息

▲篠田治策氏（平南第一部長） 入京中の處十二日朝退京 ▲石井徹氏（日郵社員） 十一日夜入京天眞樓へ ▲關戸旗雄氏（富士紡社員） 同上 ▲河本彦登氏（楚山慈惠醫院長） 十二日朝入京油尾旅館へ ▲加藤定吉氏（代議士） 十二日朝入京巴城館へ ▲鷲尾弘準氏（鐵道局參事） 湖南線より十二日朝歸任 ▲矢野久三郎氏（釜山税關長） 十一日朝内地より歸任 ▲山田敬徳氏（實業家） 十一日朝釜山上陸新義州へ ▲コーテン夫人▲チーク氏▲アリンゲ氏夫妻▲ナポンス氏夫妻▲ランゲトン氏（以上米人）▲ダウンス氏（英人）十二日朝入京朝鮮ホテルへ

圖北鮮行（一） 大塊

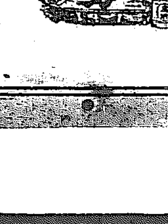
咸興原町を經て

追々と區域擴かる宵田かな

○

昨の畑今日は田となり稻宵し

優等一番秋種到着
京城本町三丁目 種子苗木 農具肥料 京城勸農園 電話七〇四番 振替口座京城五六番
營業目錄無代進呈

品質の優秀は
酪酒

絶對の信用を博し 最後の勝利を獲得す
攝津灘新庄家 宮内省御用酒醸造元 若林合名會社
京城本町三丁目 特約店 山本富之助商店

横濱 純粹 牛乳 培養 ヨーグルト
太正堀肥醫學博士 培養
京城進明町四 東亞牧場 （電話二三五番）

石龍子高弟 隈本修平氏
今般東京性相學會朝鮮支部主任として當地に在任し一般鑑定の依頼に應せらる
鑑定所 京城蓬萊町日の丸旅館
鑑定料 金壹圓
性相學會へ入會者は一回限り無料
當地 後援者一同

御旅行用 靴と鞄
◎定價表御申越次第送呈

東京市芝區 内田靴鞄問屋 電話一五五一、一八七一

東洋一の魁 内田式ストロング製品

帝國在郷軍人會京城分會
本月の定期懇話會は來る十四日東大和撲團に於て觀覽の事に致候に付希望の方は十三日正午迄に會費金五拾錢を分會事務所に申込み觀覽券受合せられ度

法人登記公告
楊州地方金融組合登記事項中目的ニ左ノ壹項ヲ追加ス
組合員ニ非サル者ノ預リ金ヲ爲スコト
右大正五年七月拾日登記
海州地方法院松禾支廳

寫眞 出張撮影 寫眞銅版 亞鉛凸版
京城日報社寫眞製部

●日本義勇兵の活躍
山東省護國軍中の精鋭

目下山東には周村に護國軍都督吾大州の率ゐる約六千の兵あり濟南附近には前山東將軍居正の率ゐる三千の兵あり又山東督軍張懷芝の兵六千と相對峙しつゝあり張は故袁世凱の乾兒にして常に護國軍中華革命軍と事毎に衝突を爲し昨今は休戰問題軍隊解散問題等に付互ひに代表者を派して妥協を試みつゝあるも革命軍に於ては張を追はざれば一歩も讓らざる氣勢を示し今や寧ろ春雨の命令の來るを待ちつゝありて頗る緊張の體なるより張懷芝の部下は在來山東の精兵及び直隸軍張勳の部下より成り支那軍隊としては最も精鋭なり護國軍革命軍側は多く烏合の衆なるも武器は比較的精鋭にして殊に日本の義勇兵百數十名加はり居れる爲め士氣非常に振へり義勇軍は昨年五月山東省滿洲各地及び日本內地より募集組織したるものにて多く在鄕軍人にて軍隊教育は充分あり軍曹大石某隊長として活躍し居れり（青島）

●火藥庫破りの賊逮捕
燐寸を擦つて危險物を搔き廻す

去る四日の夜清津明治町山田弘所の所有に係る同地高秣山中の火藥庫の頑強なる錠前を捻ぢ切り爆烈彈四個を盜み去りたる曲者あり五日朝に至り火藥庫番人が發見し直ちに其筋へ屆出でたるより清津署にては總員を召集して大活動を開始し清津港共に非常線を張りて警戒中五日午前十時向けて清津を解纜せし汽船滿洲丸に壞品に等しき容積重量の麻袋包裝物を携帶し密に乘船せる怪しき男あるを探知し取押へ方を城津署に電報すると同時に清津署より三名の巡査が半藏丸にて急行追跡せり斯くて六日朝半藏丸は滿洲丸と相前後して城津に入港せるより件の怪しき乘客なる永藤光三郎（二〇）を難無く逮捕し贓品全部を押收して目下取調中なるが光三郎は他の二名の內地人と共謀し前記の火藥庫を破り大膽にも爆裂彈の所在を確かめんため燐寸を擦つて危險物を搔き廻はし四個を盜み出し一個は火藥庫より約一町隔れる場所に放棄せるものなりと（清津）

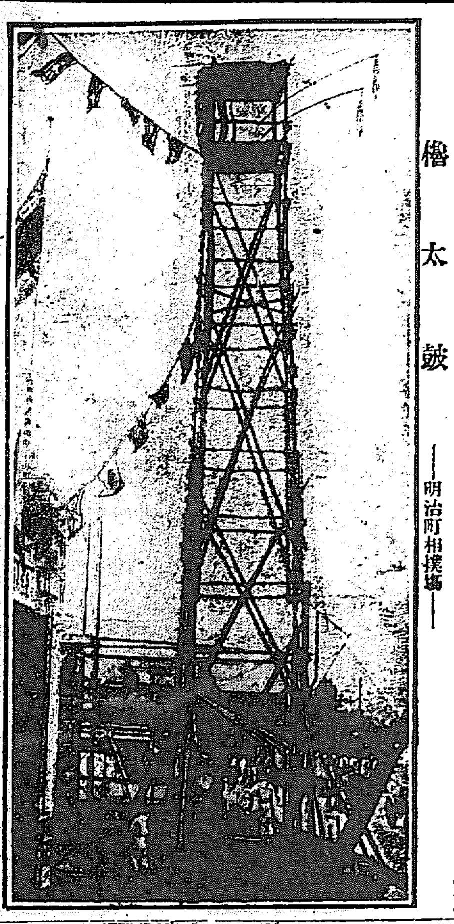
●稀しき大雷雨
全道に亙り平均に降雨

十一日午後より十二日朝に至る京城地方の大雷雨に就て京城測候所長の語る處に依れば夏季に於ける狀態として數日前より太平洋小笠原島方面に現はれたる高氣壓は其の後漸く北方に進行し十一日午前には北海道全部より日本海方面に迄で蔽ひかゝりたると共に一方

▽支那大陸方面の低氣壓は相變らず無數に連續發生し十一日朝に至りては南海岸一帶より玄海方面に及び十一日午前中に釜山及び木浦等には尠からざる降雨ありしが同時に日本海方面より朝鮮西海岸に接近し來りたる高氣壓の壓迫により元山及び京城地方に大雷雨を起したるが京城に於ては今年に入りて之れが第

▽七回目の雷鳴にして十一日午後五時より雷雨狀態となり同九時より九時三十分に亙りて近來稀なる豪雨ありたり雨量は三十分間に十六七ミリメートルを示し其後繼續して相當の降雨あり十二日午前三時より五時に至るまで又相當の降雨ありたり此の

▽降雨は朝鮮各地に亘りて平均に降雨し其の內最も多量なりしは昨日より今朝に至る一晝夜にて元山の六十五ミリメートル京城の五十四ミリ等にして仁川及び鴨綠江下流地方等之れに次たり低氣壓は玄界洋上に在り猶ほ支那方面より繼續發生する低氣壓通過の爲め當分快晴の見込立たず（京城測候所長談）



櫓太鼓　——明治町相撲場——

●仁川市中出水

仁川にては十一日夜八時過ぎより豪雨あり新町花町寺町宮町濱町敷島町牛角里外里龍里の一部は床下迄浸水し一時非常なる騷ぎとなりしも降雨が暫時小降りとなりたるため一部は浸水せり浸水家屋數は百九十七戶にして被害價格等目下調査中なるも特筆すべき事なかるべき見込み（仁川支局）

●英國汽船引揚
已に八十萬圓を費消す

昨年一月伊豫宇和島附近に沈沒したる英國ピーオー會社のナイル號（六千噸）は三菱造船所にて請負ひ是迄引揚げに從事し尠からぬ日子を費やしたる山本都度不成功に終り殆んど手段盡きたるも尙ほ主任技師朶石元照氏は之れにて終るは是までの苦心悉く水泡に歸するを以て大英斷を以て再擧を企て近々上京して社長と協議を遂げ計畫を變更して今回は浮棧橋四個を取寄せ來る二十日前後より引揚げに著手する決心なるが萬一不成功に終らば從來消費せし八十萬圓を見捨てゝ中止する事に決定せりといふ（門司）

□東宮殿下還啓

東宮殿下には十日午前六時御假泊地東港御發艦九時新潟港御上陸腕車に召させられ日和山に御登臨更に物產陳列館台臨御巡覽御買上品等あり、白山公園行幸ケ岡にては記念の爲め松樹の御手植ありたり、尙ほ北川知事より竹塗書棚一對二箱新潟市より新潟市風景寫眞帳一冊其他獻上品數點あり、かくて殿下には新潟停車場より午後零時二十分御召列車にて御發車岩越線を經て若松に向はせられ十一日午後五時十五分若松停車場御著高松宮御別邸に御入りありたるが十一日は同地御滯在十二日東京還啓遊ばさる（東京）

●大田川の氾濫

十一日午後三時より豪雨到り太田川は七尺の增水を見其の他の小河川溝渠何れも氾濫せり（太田特電）

●女を追ふ妙な男

山口縣德山町生れ京城北米倉町增田某方居住の高木忠雄（三一）は八日午後十時半頃長谷川町より南大門驛裏手通り迄年齡十七八位の色白の女に尾行し人通り少き場所に差蒐るや俄かに抱き附きて怪しかる振舞に及ばんとしたるより同女は大聲を揚げて救ひを求めたるを交番所の巡査が聞き付け取押へて本町署に引致したるが尙同人は以前にも他の女に同樣尾行したることあり取調べの結果拘留二十日の處分となる

●山椒魚を生擒る

十一日夜來の豪雨にて何處より現はれしか仁川寺町タフトン方の下水溝に怪しき動物遊泳し居れるを附近の鮮人發見し大騷ぎとなりしが多分昨夏水族館に飼養中逃走したる兒鰐なるべしとの事にて鮮人數名にて遂に生擒りにせしが之れは二尺餘の山椒魚にて目下小學校附近の鮮人某方にて四斗樽に入れて飼養中なり（仁川）

●蚊遣火から出火　京城崇

仁洞穀物商朴鏞和（三一）方より十一日午後十時五十分頃發火したるより鍾路署員驅付け附近の者と共に消火に努め一棟半燒にて十一時二十分鎭火したり發火したるは同家裏手の朝鮮式溫突にして同居人なる朴在妃（七五）といふ老婆が幼兒二人と共に就寢前に蚊遣をなしたる燼火の不始末より發火したるものなりと

●二人殺し犯人　全羅南道牧の島

沖合繫留帆船基任丸船內に於て金文善、朴士現の兩名を慘殺したる强盜殺人犯崔喜淑（二〇）は警察署に於て犯罪事實を逐一自白したれば十一日午前强盜殺人犯として檢事局に送られたり（光州）

●入質から發覺　愛媛縣北宇

和郡宇和島町生れ仁川濱町二丁目居住吉條勝利（二一）は前科三犯あり曾つて京城壽町洗濯屋梅谷某方に職工として雇はれ中主家にて洗濯物として預かり居る女羽織外一點（二十圓）を盜み龍山榮町伊藤質屋に至り氏名を詐稱して三圓餘に入質消費したることを本町署の刑事が探知して引致したり

●電車停留場新設　總督府醫

院電車線復線工事竣工せるに就き鍾路通り交叉點の從來『總督府醫院入口』を『鍾路四丁目』と改稱、御苑迄に黃橋、病院前の二停留場を設くる事と成れり

●京城荒しの賊　高陽郡龍江

面新孔德里生れ前科二犯の趙仁榮（二一）は水原郡南陽西村龍頭里生れの金順福（四二）と共謀し四月中前後數回に亙り京城太平町古物商金容九方にて靴十四足衣類數十點（百餘圓）を竊取したるを手初めに外數箇所に忍び入りて竊盜を働き贓物は情を告げて泉町居住の兪德來（三七）をして處分せしめ兩名は北米倉町の娼家にて豪遊したる事發覺逮捕され此程仁榮は懲役三箇年順福は同二箇年德來は笞九十の處分となり

●嬉し涙　慶北醴泉郡虎鳴面

月浦洞住禹泰俊（四〇）は去年八月田の草除りの際稻の穗にて眼を突きたるが原因と成り附近醫生の治療を受けしも平癒せず終に失明するに至りしが禹は赤貧なれば生れもつかぬ盲者と成りて全く生計の綱を失ふ事とて本年三月安東慈惠醫院に到りて治療を乞ひしに五月二十八日全治退院するに至りしかば禹は天恩の忝なさを感泣し居れりと

●落雷で即死　平南大同郡林

原面淸岩里十統七戶蔣時弘（三八）は去る四日大雨の最中屋外に積みある麥を取入れんと出でたる刹那落雷に打たれ全身紫暗色に變じて即死を遂ぐ

●少女の壓死　平南江西郡甑

山面正養里羅形梧の長女金永麗（八）は去る二日强風の際附近の共同井戶端に出で遊び居たる中午前十一時頃柳の古木が根本より風に吹き倒れたる下敷となり無慘の壓死を遂ぐ

●危い所を救ふ　全北南原郡

二白面蟹鷄里朴南圭（四九）は過般大洪水の際同里後蓼川に於て同里居住孫正金（二七）と云ふが濁流に押し流され溺死せんとするを認め直ちに河中に飛び入り自已の危險をも顧みず同人を救護したりと

●盛なる乘込
元氣の好い二百餘名の力士連

東京大相撲西の海大錦一行二百餘名は十一日を以て木浦興行を終り既報の如く十二日午後二時廿五分著の列車で乘込んで來た、此日前夜の雨が晴れず朝來蕭々として降り續いてゐたが一行到著時刻の迫るにつれて

▽雨が晴れたのは幸先よしともいふべく雨を氣遣つてゐた見物人は蒋々と南大門通りに詰め掛けた、一行を乘せた列車が龍山驛に著くと其處には勸進元の西田嘉三氏を始め三太金五郎以下の清華亭の藝妓三幅を始め伊勢家の藝妓その他の券番十數名が西の海、大錦、對馬洋、栃木山、兩國、待乳山、山分その他の幹部連、幕內力士のギレ〵〵詰まつてゐる二等列車に亂入してくる、そして永登浦邊から衣服を更めて端然としてゐる

▽力士連中こ挨拶が盛んに交換される、美人の一隊は其處此處に陣取つて力士連中に向つて猛進する、力士連は是迄の巡業先きで雨に惱んだ事を繰返して京城の天候を氣遣つてゐる、大錦は小柄のお父さんと向ひ合つて一々出迎人に愛嬌を振り蒔いてゐる、小常陸は怪童出羽ケ嶽が大分馴れて來て此頃では土俵に出て稽古をする樣になつたと語る、宇都宮は記者を捉へ釜山以來の玉突の復讐戰を遣らうといふ、兩國は

▽美人連の出迎へが多いと感心し、西の海對馬洋は暑いを連發し、栃木山は相變らずニコ〵してゐる斯くするうちに南大門驛に著けば一行の先を爭ふて降りるあとから西の海、大錦が巨軀を現はすと寫眞班が一齊にレンズを向ける、改札口の兩側から驛前の廣場にかけて

▽見物人は眞黑になつて雲集してゐる、その間に各旅宿の出迎へ東日本麥酒サクラビールは樂隊を奏し朝鮮公論、本社其他の社旗と打交つて

▽數十旒の旗を押し立てゝ盛んに出迎へてゐる、出迎人の中から伊藤勸進元、先乘の追手風、その他の相撲關係者が續々飛び出して忙しい挨拶を交換する間も無く十兩力士以上は孰れも車でそれ〵〵指定の旅宿に向ふ南大門通りの見物人は素晴しいもので驛前から郵便局前まで人垣を築き小常陸、大錦、西の海、九州山等の肥大な力士が巨軀を窮屈さうに車に埋めて過ぎるたびに見物はワイ〵騷ぐ、何んにしても一行の乘込みの盛況は豫想以上であつた

大相撲と讀者と本社
京城興行中の興趣ある計畫

東京大相撲西の海、大錦一行の京城興行は大分近づいて來ました、本社は一行の景氣を添ふるため又愛讀者諸君の爲に晴天五日間の京城興行中に於て種々興味と利便を兼ねた問題を提供します先づ本社

▽紋章彫刻一升入大銀盃を橫綱大關を除いた五日間の優勝力士に贈り京城興行中の發奮努力を期すると同時に此れに附隨する懸賞問題

▽銀盃を取る力士は誰　即ち幕內優勝力士の豫想懸賞を一般好角家から募集し的中者には時計反物煙草その他の賞品を差上げます

▽本紙購讀者の大割引　京城興行中の木戶錢卅錢の所を本紙刷込の割引券持參の方に限り廿錢で入場が出來ます

▽幕內番外お好み相撲　京城興行中特に讀者諸君のために幕內人氣力士のお好み相撲の取組を毎日出します外に飛付五人拔などもやる筈です

●一兒漢の控訴　慶北榮州郡

□山面丹谷里生の敬烈事金慶福（二一）は昨年の臨時救濟一把あり里路上にて同道江陵郡坪井面九坊里僉元甫方に大金を攫へたる麻仲買人が止宿し居る事を聞き同夜兩名は棍を働きたる爲め咸興地方法院にて慶烈は懲役十五年敬烈は其の幇助をなしたる爲め同五年の判決を受けたる日其筋にて屍體の解剖をなしたりはメリヤスのシャツ一枚を著し居る某なりしのみにて何れのものとも判明せず

●假證は執行猶豫　成南元山楊村洞鄭粥鎭（五一）及襄郡文山面上谷洞李春□二名は□□□□□□□□□□□□箇月（二年間執行猶豫）の判決となりたるを不服とし京城覆審法院に控訴したる結果前判決

長岡古海警部長が武器を携へ巡視の途中に某巡査を訓諭したさいよ、珍談がある▲何でも一行が某所の警察へ丁度管內から犯人を護送して來る事になつて居たので▲警察の方では檢閲が早くからあるので其の以前に犯人を未明に護送させる事とした▲其處で一巡査が暗い中に護送の途中三人の怪しき鮮人に出逢つた▲而し何も氣に留めず行き過ぎて巡査は無事犯人を護送したが其の際瑞興から二三里の處に昨夜强盜が出たと通知があつた▲ヘテな護送の途中で怪しな鮮人に逢つたがさ巡査が思ひ出る樣に云ひ出すと▲デヘ其奴に違ひないと他の一巡査は早速怪しな鮮人の行つた方向に走せ付けて漸く捕へて見ると果して其の强盜であつた▲其れぢや一行が捕へた譯ではないぢやないかと云ふと▲イヤ直接捕へたと云ふのぢやないが一行が早く檢閲をすると云つてやつたから從て犯人護送を平生より早く未明にやつた▲其處で强盜が發見されて極く短時間で犯人が捕縛された▲若し檢閲がなかつたら護送は其の時にやつて居ない▲其うすると犯人は發見されずに無事逃走して居た譯だ▲だから捕縛の動機は一行が作つた譯だが何うだい面白い

戶籠朝、外人二名、矢野久三郎（二等）河本靜雄、同りよう、同弘、坂本雄文、杉ひで、南仁るい、杉一夫、日野國康、日野□□、同政子、久米□□、白石保、奈良□□、市川四郎、飯山□□、都、新聞男爵太郎

●中元の贈物は何うするか
……先方の趣味と用途を考へ……京城は舶來品が安い……

此頃の京城市中の店頭は何れも『中元贈答品』の賣出しで賑つてゐるが其贈答品についても貰つて嬉しくない物と贈つて喜ばれる物とは先方の趣味や嗜好を考へて買はなければならぬから其選擇には何處でも苦心せらるゝ事柄なのである尤も京城の中元贈答品は以前は隨分品質の怪しい物の如きものが流行したものださうだが今では一般に實用的な品物が喜ばれる傾向となつた殊に朝鮮には內地と異ひ關稅が安いので舶來品が比較的安いのである

就中京城本町明治屋支店に於ては『進物の栞』と云ふ冊子を各顧客に進呈して居るが其品物の如き世界各國の產地製品の眞實著名のもののみを極めて時勢に後れず常に新奇の品を輸入し吟味の上最良でなければ決して賣出さぬと云ふ主義であるから何れの家庭に於ても歡迎せられて中元の最適品としては

◎飲料水　明治屋の特約品は天然礦泉にて精製したる布引サイダー、オレンヂーにダイヤモンド印特製レモンなど普通飲料水に比し確に優秀のもので一打一圓才錢より一圓五十錢迄

◎ビール　キリンビールと云へば明治屋と聯想する如く其風味の卓絕せる嶄然として斯界に頭角を現はし何んな處に御贈りになつても決して恥しくない化粧函入一打又は半打入のものでもある

◎洋酒類　同店の洋酒は實に豐富で珍奇なものが多い、中にもウイスキー、ブランデー、ベルモット、赤白葡萄酒、リキユー酒、其他新輸入のジンジヤー、ブランデーは現今なか〵好評にて殊に御婦人又は下戶向の果實汁（葡萄、苺等）甘露酒から五色の酒など各種取合せ體裁よきリボン縛り籠入として値段は二圓五十錢位から八九圓までです

◎洋菓子　夏向菓子類に餡氣のあるのは兎角危險であるから永久貯藏に堪へる洋菓子に限るソコで專門の明治屋で物色して見るにビスケット、チヨコレート、アップリコットヌガーなどの珍らしい美味の澤山籠入されは進物用としては

◎洋食器類　何れも製作巧妙精緻の銀製、陶磁器、硝子製の洋食器も頗る豐富で

◎商品切手　である是は體裁意匠頗る優美高雅であつて且つ各本支店出張所の共通の便利があるから貰つた方は何處でも商品の何品に限らず勝手に自分の好きな品物を選擇の上何んな僅かな物でも分割して何度にも使用出來各取合せて求めることが出來るのみならず日々の生活に直接の興味を與へる樂みがあるから非常に一般の歡迎をうけてゐる

天氣　くもり　曇但少雨　▲七月十三日

日出　五時二十二分　日沒　七時五十六分

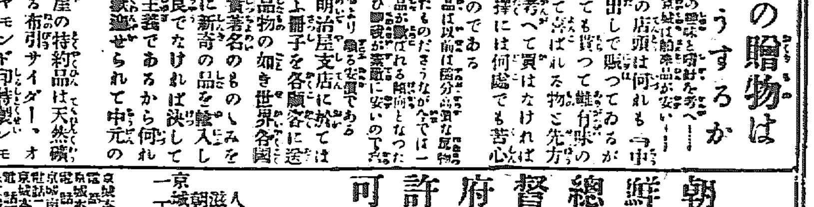
大阪市　榮原伊太郎

質

京城黃金町二丁目（永樂町停留所北入）

堀佐營業所（電話六三九番）

朝鮮總督府許可



人參直引大販賣所

高麗人參エキス　朝鮮名產一切　人參藥品製造及販賣元

京城本町一丁目　津村兄弟商會　電話一四八〇番

特約店　北島藥房　古城藥房　廣岡藥房　松屋阿部藥房

內用効能　外用効能

◉親孝行の大錦の先生

〔柴崎中學校長曰く〕

□親孝行の大關大錦はまた師弟の情にも厚い男で京城に著くなり舊師の柴崎中學校長にお目にかゝりたいと望んで居る「校長はまた平素相撲好きの上に大の大錦贔負で大關の噂が出るといつも大ニコ／＼

□『大錦が天王寺中學に居た時分は纏田卯一郎といふ純大阪出の生徒で體格もなか／＼立派なものでした

□大錦の卯一郎君は明治卅九年頃相撲志望を以て自ら四年級を退學しました

□爾來薪膽今日の大關になつた次第で私も常に手紙などで勵まして居たが彼の志想の堅固なこと相撲界の品位を高めたいと努力して居るのは感ずべきであると思ひます

□當時大錦と同級の生徒には今夏東京の帝大法科を一番で出た杉田正三郎君が居りました奇人の百濟といふ生徒が居ました

□百濟は中學の三年頃から深夜屋根に上つて天文の觀測に耽つた男で苟も天文に關した記事があれば如何な新聞でも切拔くといふ評判で非常な秀才でした

□次に閉塞隊で死んだ黒川といふ偉い生徒も居りましたが惜しいことをしました……』

兵營の厩舎に働く英國婦人

◉米價が騰りました

○此の程まで十二錢臺であつた白米の小賣相場も最近七月に入つてから二度の値上りを來した○初めは三日に上十四錢中十三錢五厘となりつぎは六日に一錢宛騰つた○それで昨今米所の卸小賣相場は一石十四圓となり小賣相場は上十五錢、中十四錢五厘となつた原因は各地の石米が騰い爲めであります

◉黒色で包まれた巴里の婦人

〔日本人の方が贅澤……島崎藤村氏談〕

◇佛蘭西から三年振りに歸朝した島崎藤村氏は巴里の婦人に就いて懇篤土産ばなしを試みました

◇『今度の歸途はビスケー灣からセントヘレナ孤島の沖を掠めケープタウンからセイロンに入りましたが五十五日の航海に赤道直下を二度も通り隨分無聊に苦しみました 船が日本に近づいて遙かに大隅群島の青蕉が視界に入つた時の嬉しさは未だに忘れることが出來ません

◇私が初めて巴里へ歩を入れた時には徐ろに開いた通り色彩の強い華やかな婦人の姿が恰も世界の流行の本場であるのを誇るかのように見えましたが稍々落ち著くにつれて其れが眞の巴里女でないことが解りました

◇巴里の女は決して華美の服裝を致しません彼のけばけばしい孔雀のやうに著飾つた女は女優や狹斜の女かさもなくば他國から衣裳の方や交際振りを習ひに來る富豪の令孃達が粧ふ扮裝であります

◇純なる巴里の女は決して眼しいきらびやかな衣服は著けません、黒の帽子に黒の著物、全體黒いものづくめなのが巴里女の扮裝となつて居ります

◇それで餘程粹がつた女でも黒の帽子に赤薔薇を點す位が關の山で假令女の美しさを見せる音樂會や劇場などへ行くにも黒色のガウンで贅澤な裝身具を包んで居ます

◇また女優にしても第一流の人は至つて地味でこれが粹でハイカラな巴里ッ子の本場かと思はれる位で贅澤で著ると歸朝して見ると日本人の方が遙かに上のやうに思はれます

◇また電車の車掌や地下鐵道の切符賣は悉く婦人で其の他商店の事務員等何れも纖弱い女の仕事で戰爭は巴里の空氣を充分緊張せしめて居ります』

○鷄林同人冷詠草 井上通泰先生選

山(題) 御歌所寄人

(丙)返させの松の落葉のつもりてかみとり木深

◉眞隨師の入京 今回朝鮮に於ける淨土宗開教總監として來任せられたる眞隨師は十一日午後二時二十分南大門着の列車にて入京 驛頭には各信徒の人々を始め内鮮人信徒總代、世話人、青年會員、日曜學校生徒等多數の出迎へありたり 尚ほ行列は本町より大和町に出で開教院に入りたるが寺院内にも多數の信徒出迎へありたり

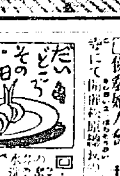
◉柔道の暑稽古 京城中學校にては來る七月十八日より卅一日まで柔道暑稽古を開催す

◉技藝學校暑中休暇 南大門私立京城技藝學校にては來る廿五日より八月末まで暑中休暇となりまします

◉京城幼稚園夏休 仁寺洞京城幼稚園にては來る廿一日から八月末まで暑中休暇となります

番茶のあと

◇露都から京城に來る電報は過般浦鹽京城間の伸縮が廢しられて今では二時間乃至三時間で届く△また倫敦、巴里から來る電報は時差を差引き四時間乃至六時間で届く△然るに昨今は本月三日露都を發した電報が六日かゝつて八日に届くかと思へば四日に出たのが翌日來るといふ有樣で△悉愛ことは烏渡開戰以來無かつたことであるとかの噂



だいどころ その日その日

□しそまきみそ 白しその葉を一枚々々摘み取りて水洗ひしてなし水氣を切り細く刻み小口へ白みそ牛分赤味噌牛分をまぜこしにかけたるものを入れみそ百匁につきてみりん四勺砂糖二十匁位を入れてよく／＼練りつめてさまし[illegible]

—△會いろ／＼▽—

□佛教婦人會 十六日午後二時より西本願寺にて開催 布教講演あり

神社と教會とお寺

○東本願寺(南山) 十二日午後八時半より信友會あり大谷布教監督の親鸞聖人御一代記講演あり 猶ほ十三日より十五日までは毎日午前七時、午後二時、同八時半の三回盂蘭盆法會あり

○西本願寺(若草町) 十三日より十六日まで盂蘭盆法會あり毎夜九時より讀經と說教あり

○護國寺(旭町) 十三日より十五日まで盂蘭盆法要、十五日午後二時より大施餓鬼あり猶十五日午後す時同社にて川施餓鬼あり

○妙心寺(櫻町) 十二日午後一時より婦人會を開催したり

○大理教々會(若草町) 十三日午後二時より月次祭、上田會長の講話あり

○國柱會京城局(初音町) 十五日午後八時より定例の修行を營み伊東講師の法話に次いで其の他の本尊に關する講演あり

○曹洞宗別院(若草町) 十三日より十六日まで毎夜八時半より法要並に說教あり十六日は午後二時より大施餓鬼あり猶ほ十三日より十五日まで觀經あり

(丙)すゝくとびゆる山のいたゞきな雲のかすめてけふもゆきかな 丸野 豐

(丙)なりしくは虎の吼も聞えきて辿るもすごきからの深山路 佐野 發邦

き山となりけむ 岩本 あい子

◉釜山聯合水泳會

▲釜山の公立各小學校にては七月二十二日より八月十日まで聯合水泳會を催ふします ▲場所は南濱海岸にて水泳場には宿泊所、脫衣所、休憩所、渴睡場等あり ▲八日迄の申込者は約六百名、海上には數隻の救助船も用意されてあります ▲尚ほ監督には教官二名及び各學校の職員これに當り教師には山本久一氏これに當るべし

◉植村牧師の日程

東京富士見町教會の牧師植村正久先生は十二日午後七時三十分南大門着の列車にて新義州より入京浪速町湯淺法院宅に入るべし、尚ほ十三日午前十時よりは西大門通組合教會に於ける婦人會に臨席十三日午後五時よりは江戸川に於ける信徒懇親會へ、同八時半よりは長谷川町の日本基督教會に於ける信徒大會に臨まれ、十四日午後八時半よりは長谷川町日本基督教會に於ける臨時會に臨み十五日の朝南大門出發の筈

商況

東京株式特電

十二日前場寄付 三六三 [illegible] 大引 三六五 [illegible]

債券現物特電

[illegible]

公債直取引

十二日 九六、二〇 九六、〇〇 (前日との比較) [illegible]

深川在米特電

十二日 五七三〇 六五二〇 八〇〇三 [illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪株式特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

十二日前場 七月限 一三五九〇 八月限 一三五六〇 九月限 一三六二〇 [illegible]

下關期米特電

十二日前場 [illegible]

雜報

[illegible]

◉亞鉛板底強し 亞鉛板は近來倫敦亞鉛相場の著しく低落せるより當業者の一部に於ては早晩之が影響の避け難きを豫測しつゝありしが昨今の大阪市況によれば平板浪板共に案外氣丈の成行きにて[illegible]

◉内地米仁川著 千五百俵 [illegible]

◉仁川在米增加乎 仁川定期受渡準備米として最近京城精米所の持来[illegible]

◉砂糖更に好勢 殆ど品切同樣 [illegible]

◉昆布は昂騰 [illegible]

下關相場

來れり更に氣配高 二十圓内外 [illegible]

京城正米

同 一等白米(當用) 十三圓九十錢 同 二等白米(當用) 十三圓七十錢 元山大豆 十四圓三十錢 新義州大豆 十四圓十五錢 [illegible]

南大門の廻穀

[illegible]

仁川現物市場

仁川玄米 二七〇 鳥山玄米 二七五 [illegible]

釜山穀物市場 十一日

[illegible]

生魚市場

[illegible]

仲買店

仁川米豆取引所仲買人 支配人 士居勝 電話 二八二番 二八三番

仁川期米

十二日前場 一節三十七錢安 [illegible]

大阪五節四十七錢 大阪七節四十錢 大阪止 二十六錢 依然保合の裡に下げ [illegible]

市場零聞

▲依然動かず [illegible]

▲依然買氣勝 [illegible]

▲前場の手振 [illegible]

▲新動機缺 高値硬軍 [illegible]

▲動機待つ一般人氣新 [illegible]

▲停止問題 [illegible]

礦實 仁川海岸町 取引所仲買人 廣澤正次郎 電話 六五番 六三〇番 迅速

注目を惹く意外に世上 [illegible]

切迫せる停止限月の解除の時 [illegible]

仁川米豆取引所

十二日の九月限

	前場
寄付	十二圓 [illegible]
止め	十二圓 [illegible]
高値	十二圓 [illegible]
安値	十二圓 [illegible]
出來高	一萬五千石

賣買取組高 七月限 五萬二千五百五十石 八月限 二萬八千五百十石 九月限 四萬石

十一日後場 前日と比較 [illegible]

▲大阪の成行 [illegible]

廻著も來る物多から鮮米及び内地米の [illegible]

六百石廻著 千五六百俵約 [illegible]

▲内地米廻著 [illegible]

到來 [illegible]

北濱だより

▲株式兩面觀 [illegible]

▲久原新株 [illegible]

クラブ歯磨愛用の力士

大關 大錦と其筆蹟

丈夫な歯ならする クラブ歯磨を好み 髪ふくくなる クラブポマードを愛す 大關 大錦卯一郎

歯の抜くちる クラブはみがき 髪の黒くなる クラブポーマードを愛用す 横綱 西ノ海嘉治郎

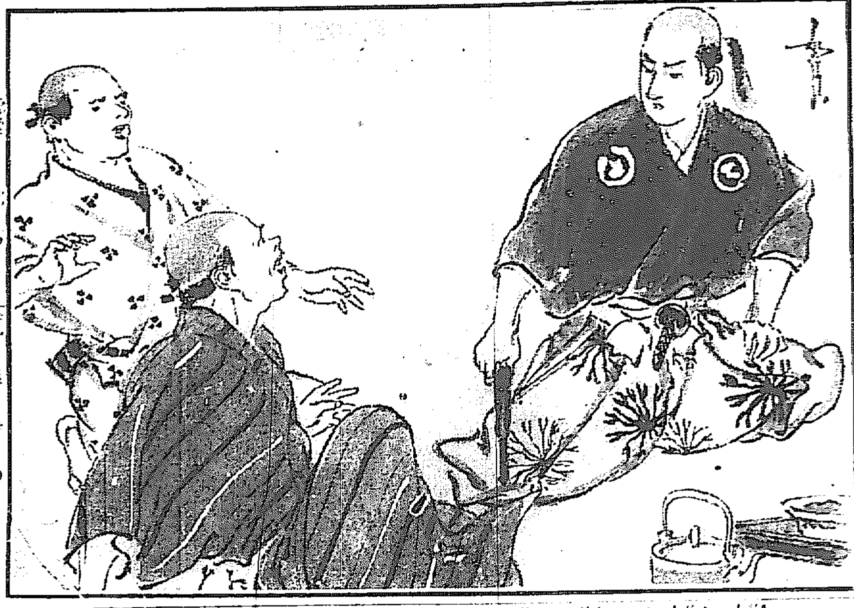
横綱 西ノ海と其筆蹟

宮本武藏

第九十七回

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

宮本の座敷へ這入つて來た町人 ○『へエお招きでございまして伺ひました 武『アヽ呼立をして相濟ん、大分話しが面白さうだから拙者も承たまはりたいと存じてな ○『イエ／＼岸柳先生の事でございますか 武『岸柳宮本を大分惡く申す樣だ ○『惡くいゝたくもございませんお旦那樣餘りどうも卑怯で江戸ッ子の面汚しでございます、私も江戸ッ子でございますお氣に障るかは存じませんが奴でヤアござ



いません、宮本といふ奴は生てるか死んで居るかだか分りません木像見たやうな男で…… 武『此奴忌々しい事をいふ奴だ……コレ／＼町人貴樣宮本といふ男を知つて居るか ○『イエ存じません見た事もございませんが、どうせ間拔けな男でございませう 武『默れ、宮本は拙者だ ○『ヘッ何でございます 武『拙者が宮本武藏だ ○『ウワーッ大變だ 武『木像だの間拔けな男だの何のと惡くいつて不埒な奴だ、何が間拔けだ、拙者の方で岸柳を探して居るのだ、最前から聞いて居ると岸柳が鐵扇で宮本を破壞して粉末にして道普請にするといつたやうだな ○『ドゥも之は大變な事になつた……エ、お武家樣、貴所が宮本先生だといふ事は夢にも存じません

ものでございますからとんだ失禮を申しまして何とも面目次第もございませんどうか偏に御勘辨を…… 武『失禮もないもんだ此上の失禮はない、併し知つて惡くいつた譯でないから勘辨いたすが以來拙者の惡口をいたすと其分には措かんから左樣心得ろ、忌々しい事をいふ奴だ ○『誠に何とも申譯がございません宮本先生は大した方で 武『今になつて世辭を使つても無益だ、岸柳は何ういふ旅

籠屋に泊つて居る ○『へエ小豆屋半兵衛といふ小半といふ上等旅籠に泊つて居ります 武『然うか宜し／＼夫では明日拙者が乘込んで岸柳を討果して了ふ、先方は何人だ ○『へエ岸柳一人で 武『ウム一人か假令何十人居ればとて片ッ端から斬つて落とし死人の山を築いて呉れる』と武藏例になく大言を吐いた、町人横つ飛びに本の座敷へ踊つて來て ○『オイ／＼皆な起きろ、大變だ／＼ △『何だ何だ、火事か地震か ○『そんなもんぢやアない宮本だ △『宮本がどうした ○『宮本先生が此家に居るんだ、實は今斯ういふ譯で既に首が飛ぶ所だつた △『其は大變だ、皆な宮本先生を惡くいつちやアならねへ、宮本先生がお在になるんだ △『其ぢやア明

日宮本先生が小倉へ往くのか、小倉へ往つて岸柳とチャン／＼バラ／＼初まるといふ事を聞いて見物せずにやア居られねへ、俺は一番船で小倉へ歸るよ ×『俺も見ずにや居られね（から一番船で歸る △『俺も一番船 □『俺も一番船』と三四十人の客が皆一番船にする、恐らくなると宮本の勝負をするもの、岸柳を贔めに者は一人もない ○『俺は何だ、宮本先生に助太刀をして岸柳の野郎を打つて了ふ △『箆棒め手前なんぞが助太刀もねへもんだ、後へ往てチョン斬れてもしたらどうする ○『何俺の助太刀は遠くの方に居るんだ遠くだから大丈夫だよ △『遠くの方に居て助太刀が出來るかへ △『砂糖屋へ行つて蜜を買つて來て岸柳の頭へ打懸るんだ ○『何してさうするんだ △『蜜は甘へから熊蜂が飛んで來て岸柳の頭を突つく、其隙へ宮本先生が往つて岸柳を叩つ斬つてしまふから助太刀だ ○『詰らねへ事を云つてやアがる 明日早へから皆な寢ろ／＼』とソア／＼宵から寢てしまふ翌朝になると 船『一番船が出ます、一番船が出ますサア／＼皆さん一番船に後れると二番船二番は正午になります三番は未下刻になります、サア一番船が出ます』とカチ／＼拍子木を叩いて觸れて廻る ○『ソレ一番だ起きろ／＼ △『今鳴た計りだ ○『そんな事をいはねへで起ろ一番船に後れちやア敵討が見られねへ早く起なくつちやアいけねね……敵討といふから皆な飛起きて顏を洗ひ焚立ての飯を食つて夫からドカ／＼と船へ乘込む、丁度六ツの太鼓が鳴ると船頭が 船『ヤウサテウサ』と錨を卷上げて船を出す、折からの順風帆を一面に張つてグヲ／＼と波を蹴立て船は矢の如く走る。

皮膚科
皮膚病　黴毒　淋病　腎臟病　生殖器　機能障碍
入院隨意（診察夜九時迄）
日曜祭日午後二時迄
京城明治町二丁目
佐藤醫院
（電話一一七三番）

七月十四日九星
舊六月十五日壬子
本命六白乾取友引

演藝案内

櫻井町　大正館
電話八七三
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
七月十二日より特別大興行 ○世界的大冒險大活劇「ハート」の３ ○前編第三編三十五編の内自第十一編……

壽町　御成座
電話二九一
第一番目……　第二番目……

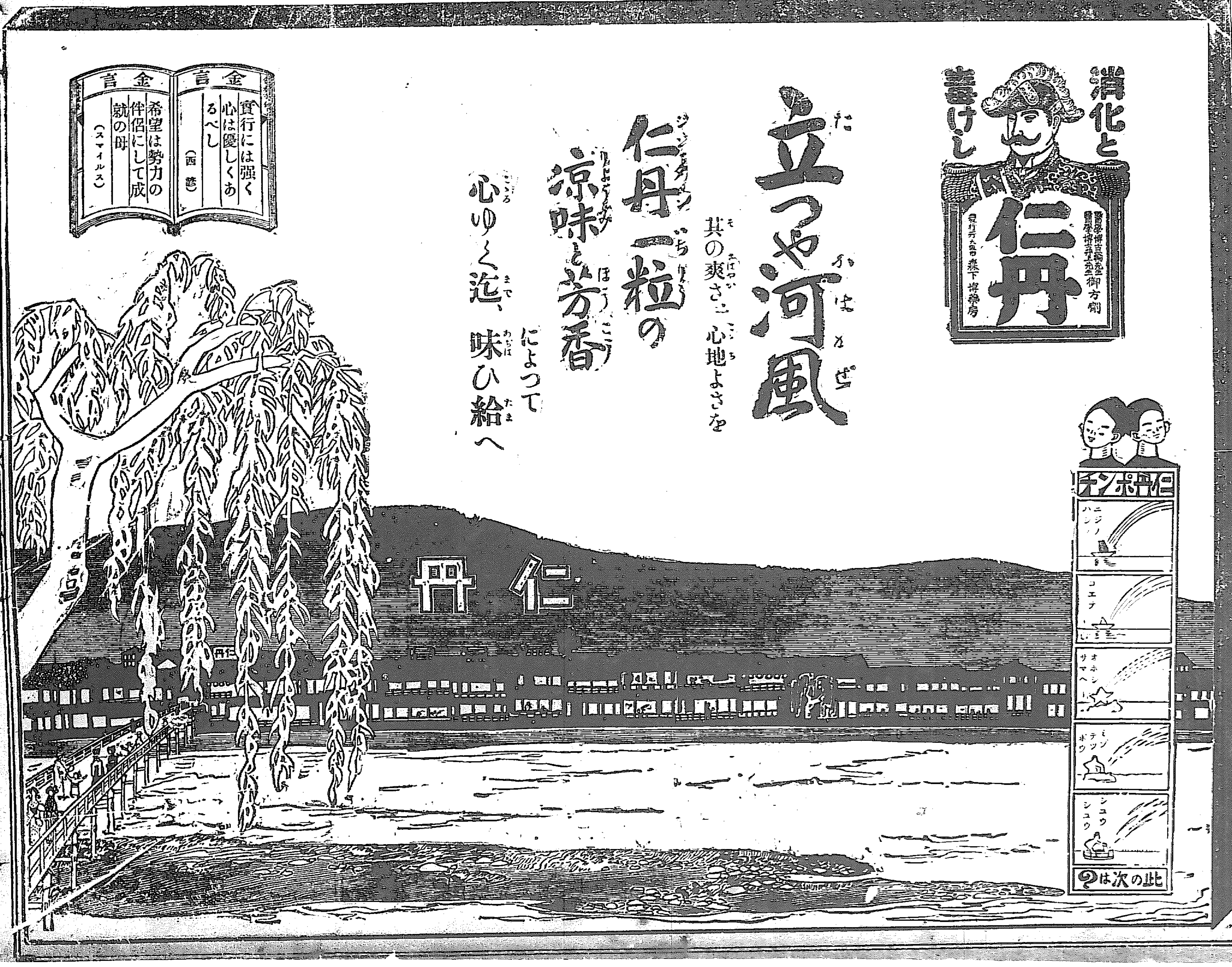
第三次提供
「ハート」の３
前週の大活劇は進んで愈よ最大佳境に入る、幽閉されしローズ嬢、數百尺の空中、大起重機の利用『アラン青年』が渾身の大冒險、大爆發、來る大火災、水上飛行男子バーカス現れたる快ライン忽然の出馬は首魁トライン列車戰は絶火花を散す全編を通じて又快絶!!其眞隨に達せり今や
十二日より上場　大正館

明治町　浪花館
電話二六〇番
東京落語三遊亭遊三一行來る
七月八日より每夜六時開演……

黄金館
電話一八五二（階上）二六三七（階下）
天然色活動寫眞株式會社……
七月七日より……大興行 ○……○世界的名篇○大冒險大活劇『名金』全二十二編……

目ぐすり中の目ぐすり
登録商標　岸田目藥　精錡水

富の道しるべ
山縣五十雄・村上唯吉共著　價十五錢　郵税二錢
京城太平通　振替三二〇番　京城日報社代理



京城日報 第三版

十三日朝刊(夕刊と合せて八頁)

定價 一ヶ月金五拾錢 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話 [illegible] 振替 [illegible]

大阪期米特電(十二日) [illegible]

▲依然動かず [illegible]

財界時言(七十一)

○近頃大連方面では、三線連絡運賃問題が又もや火の手を擧げ來れる模様なり。思ひ切つた大袈裟な火の手が彌々熾なるとして朝鮮鐵道を苦しめ遂には之を燒き盡さでは已むまじき勢を示せるもあり、慶に心配なる。

○試みに大連方面の論旨を代表するものゝ説く所を指摘すれば、曰く、滿鐵の滿鐵線の連絡は斷乎交通の便宜上全然旅客本位なりと。曰く、鮮鐵は輸送能力の缺けたる不具的鐵道なりと。曰く、鮮鐵が日支間海運に競爭せんとするは、蟷螂の斧を以て龍車に向ふより猶愚かなりと。曰く、鮮鐵は自己の使命を忘れ、隣家の貨物豐富なるに嫉妬羨望せる輸送泥棒なりと。曰く、鮮鐵は滿鐵の本線及び大連港に致命的打撃を與へんと企てつゝありと。曰く、鮮鐵の陰謀に乘ついて鐵道院は動もすれば之と内應共謀して其非を遂げしめんとすと。曰く、政府當局者宜しく猛省して速かに鐵道院内二三奸吏の横暴を懲罰するの必要あるべしと。

○斯くの如く大連方面にては頻りに的言辭を以て朝鮮鐵道と鐵道院當局とを呪咀するものあり。若しその通りなりとせば、朝鮮は濟度すべからざる惡者にて、鐵道院は捨て置くべからざる罪惡幇助者たりと謂はざる可からず。然かも過ぎ敢て當らず、厄介至極と申すべき也。

○朝鮮鐵道は果して論者の云ふが如くに、地方的交通機關として、其の安奉線との連絡は全然旅客本位たるものなりや否や、三線連絡は旅客本位に限るべき性質を有するや否や、滿鐵が貨物本位にして鮮鐵は然るべからざるや否や、滿鐵は其本線が大事にして安奉線などはどうでも宜しきものなりや否や、奉天より大連までの線は絶對價値ありて、何くまでも之を有利に保護せざる可らざるや否や、苟くも經濟上より鐵道の目的使命を研究し、鐵道連絡の關係を研究し、權衡公平に國家的見地より植民政策を研究する者は、一地方、一地點の繁榮をのみ思ふに急にして、他の利害と調和するを忘れ、若し少しにても其地方其地點の利益を侵すものに對しては直ちに之を敵視するが如き者の態度を遺憾とし、之を憫れむに堪へざるべし。

○滿鐵も國家的使命を有する大鐵道なり、之と同じく鮮鐵も單に一地方的鐵道に非ず。吾人は大連の盛衰の爲めに此の滿鐵道が將來の思を誤るものに非ざるを信ず。三線連絡運賃あるが爲めに、果して大連は永久たる打撃を蒙むるや如何。地理的大陸發展の爲めには、總括的利益の増進を策せざる可らず。大連の爲めに、滿鐵本位といふよりは、寧ろ大陸の爲めに、朝鮮鐵道を厄介視し呪咀するが如き愚論は絶對に禁物なり。

城壁文學

小田省吾

世宗期都城修築(第五)

(四)世宗期城壁の文字及び同城壁の特徴

質錄に掲げた各道受持の字號は前節に表示した通りであるが、之が實際的方面を考定することは容易でない。其れは太祖期の處で述べた如く、世宗九十七の內、明かに知られたものは或一方に偏して僅かに八字に過ぎないからである。由て之を確めるには他の材料に依らねばならぬが、幸ひにも太祖期でもなく、肅宗期でもない他の同一種類に屬する城壁に多數の郡縣名の彫刻されてあるのを發見した。此の郡縣名のある箇所を歸納的に連絡する時は、見事に前に表示した質錄の受持順序と一致するので、あつて、更に之を各道受持字號數に既に確知されてある八の字號と名へ合はす時は、大體左の如く各道受持の實際的方面を定めることが出來る。

●京畿道●(天字−荒字) 白岳の東北背より起り昌德宮の上に至る。此の間に●連津、●南陽、●利川の三郡縣名を發見した。

●咸吉道●(宿字−列字) 駱峰の背後附近より北廟の背後に至る。本道の郡縣名は一も發見せぬ。

●江原道●(張字−寒字) 北廟背後附近より東小門の北側に至る。此の間に●金化、●江陵の二郡縣名を發見した。

●忠淸道●(來字−歲字) 東小門附近より駱駝山頂を越え中央試驗所背後附近に至る。此の間に●●、沃川、木川、鴻山、庇仁、●●川、瑞山、唐津、扶餘の十郡縣名を發見した。又盈字の前の『成』字一を發見したが、是れは此の邊に近い土塊であつたから、世宗朝修築の際其の城壁に刻したものではないかと思ふ。

●全羅道●([illegible]) 中央試驗所背後附近より光熙門外京城火藥庫附近の邊に至る。此の間に●同福、●井邑、●扶安、●茂長、●[illegible]、●潭陽、(全羅南道)●鎭安の七郡縣名を發見した。

●慶尙道●([illegible]) 光熙門外大藏場附近より漢陽公園の邊に至る。此の間に●河陽、●慶山、●善山、●晉陽、●長鬐、●咸安、●河東の七郡縣名を發見した。

●平安道●([illegible]) 漢陽公園西端の附近より西大門跡に至る。此の間に●龍岡、●[illegible]、●德川、●鐵山、●龍川、●宣川、●安州、●義州、●定寧(以上平安道管內)の九郡縣名を發見した。

●黃海道●(…字−帝字) 西大門の北側より仁王山を越ゆ、白岳の西北背後に至る。此の間に●豐川、●平山、●兎山、●江陰、●文化、●殷栗、●長連、●瑞興、●鳳山の九郡縣名を發見した。

是れ亦世宗期修築の際其の城壁に刻したものと認める。此れで發見郡縣名總計四十七であるが、當時郡縣の總數約三百十餘であるから、大部分は湮滅に歸したのである。又咸吉道は受持が少いため一も其の郡縣名を發見せぬのは遺憾である。

銀行團の春川行(上)

遠山生

七月初九日、京城銀行會社の代表者を網羅せる春川探勝隊一行二十餘名は午前七時半四臺の自動車を並べて曉風を衝り威勢堂々、長谷川の本陣を發足す。先頭は案內の役を承る余及び水越木村の鮮銀理事、林東拓理事、石川百三十次席等乘組員たり、續く第二隊には豐田商銀、河井百三十、金漢一支配人、張漢城副支配、三宅農銀調査役等あり、第三隊は最も華麗なる自動車にて運轉手も『ハイカラ』二人を召連れ、三島理事、西村一銀、加藤東拓、等得々然として搭乘し、殿軍の第四隊には井上東拓理事、山田鮮銀、神永商銀、毛利十八銀、村上、平岡の兩一銀、森漢城之にあり。往復四十七里、百十七哩の道程を突破し、山を越え河を渡り、一日の間に十二分の探勝を試みんとは、よくも紳士連の團體は、少し無理な注文なれど、偶には新鮮の空氣を呼吸し、英氣を鼓吹するの要ありとしたるは、一二[illegible]張したることこそ可笑しけれ。

東大門より清涼里を過ぎ、その昔東[illegible]外人の設計したりと云ふ三十二間道路を疾走するに、兩岸の柳枝、緑いよいよ濃にして青田を吹き渡る風の心地よさは得もいはれず、一行の意氣益昂り、西歐戰場を驅行する自動車隊に擬したるものありと勇み立つ。間もなく先頭隊は金谷陵に著す。此間五里、約四十三分を要せり。次で第二隊第三第四隊之に次ぐ。金谷を發し來りて有名なる馬峙嶺の七十七折の棧道を越ゆ、峰嶺高く車窓を壓して涼風肌に迫り、飄々として羽化登仙するの想あらしむ、之を超ゆれば磨石里より、憲兵分遣所あり、出て迎へらる、一揖して通過して須臾にして漢江の左岸に出づ、滾々たる江水、連山の間を縫ふて流れ去る處、兩岸人煙稀にして只二三漁舟の上下するあるのみ、宛然たる一幅の畵幅なり、我隊の木村君たびたび帽子を吹き飛ばされて運轉手を惱ます、九時五十分清平川驛につく、春川行程の中間なり、此處より第二隊以下杳として消息なく、聊か氣懸りに堪へず、殊に三島、西村、加藤の一隊の安否如何を案じつゝ、更に北進して十一時前加平驛に先著、茲にて約三十分の休憩を宜し後續部隊をまつ、林東拓君出迎の憲兵君を相手に頻りに土地の狀況をきく、酒一斗落の値段はと問ふ憲兵君だんだん受太刀の氣味にて氣の毒さうなり

露西亞の住民(三)

伯野生

○歐露の住民○

歐羅巴露西亞の人口は、總數一億四千一百萬、一方哩に付、約七十人位の割合となつてあるのであるが、各地方に就いて、仔細に之を分檢すれば、其疎密の度に非常なる懸隔があるのである。例へばペトログラード縣の如きは、北方メゼン縣の約千五百倍に該當するのである。是れ蓋し帝都の存否に由るのでもあらうが、それにしても餘りに甚だしい懸隔ではないか。兎に角に歐羅巴露西亞の住民は、其疎密の度に於て既に雲泥の差あるのみならず、人種の上に於ても亦頗る錯雜を極めて、一々判別に苦む位なのであるが、大部分はルースキイであつて、其數七割二分に達し、他の諸民族は、二割八分、即ち歐露總人口の四分の一強に過ぎぬのである。而して其ルースキイは、其方言に依つて、更に大、小、白の三種に分類せられ、七千萬人以上に達する大露西亞人は、中部より北部にかけて、[illegible]二千五百萬の小露西亞人は、所謂ウクライナ[illegible]ドニエープル河の中部、[illegible]地、ドニエーブル河の上流に居住してゐるのである。七百萬に近き白露西亞人は、[illegible]全歐羅巴露西亞に於ける、非露西亞人たる諸民族を列擧すれば、則ち左の如くになるのである。

●高加索人種●

〔スラヴ民族〕大、小、白露西亞人、波蘭人、塞耳維人、勃牙利人、

〔リトアニア民族〕リトアニア人、レット人、獨逸民族、獨逸人、瑞典人、羅馬民族、羅馬尼人

〔イラーン民族〕アルメニヤ人

〔其他の諸民族〕猶太人、希臘人、ツイガン人

●蒙古人種●

〔芬蘭民族〕(歐羅巴的分派)芬人、エストニア人、カレリア人、(沿伏爾加的分派)チエレミス人、モルドワ人、(沿烏拉的分派)ワチヤーク人、ペルミヤーク人、ジレーン人、ヴオルグール人、(其他)ラプランド人、サモエード人

〔土耳其韃靼民族〕韃靼人、バシキール人、チユワシ人、キルギース人、ノガーイ人、

〔蒙古滿洲民族〕カルムイク人

日報歌壇

□涙ぐむ心　京城　星子

我心夕となればかへり來てたゞしみじみと涙ぐむかな。

悲しみは水の如くもいさゝかの心の隙か流れ入るかな。

□あぢさゐの花　都留子

來る夜さも同じ辭して物賣りが我が窓の下過ぎゆくかなし

例へなばサロメの性か色かへて僞もうつくしあぢさゐの花

悲しみを笑ごとしてめづることも第一におくわがきのふ今日

□七月來る　木内背紅

善き事もやゝ不安げにたぢろぎて見つむる瓣のつきし果敢なさ

樹の花香を立てにつゝ朝な朝な地に散り敷きて七月來る

□夏深む　藤本紫淵

からつぽな頭かゝねてポプラ葉に見入りてわりぬ夏深み行く

□彼が持つ性質

ひた／＼と物喰ふ音にも彼が持つ性質はほの見ねにけり

朝鮮總督府鐵道局副參事村瀨鎌次郎氏辭任東上被致候に付左記の規定にて送別會相催度候間萬障御繰合せ御出席の光榮を得度此段廣告仕候也

一會期 十六日午後六時
一會場 花月
一會費 金五圓(當日御持參)

七月十四日

發起人(いろは順)
井上孝哉 萩谷籌夫 大垣丈夫 山縣十雄 牧山耕藏 木村雄治 釋尾春芿
原田金之祐 岡[illegible] 高野省三 馬詰次男 阿部充家 白上貞一 菅谷駒之助

追而[illegible]京城日報社、京城日日新聞社、朝鮮公論社[illegible]何れかに御申込被下度候

妾事出發の際は夜中態々遠路御見送り被下難有御禮申上候 略儀御挨拶迄 匆々
七月十三日 岡田きよ

鴨綠江材值上廣告
總督府營林廠製材木材は七月十一日より五分乃至一割五分值上相成候に付き此段廣告候也
大正五年七月十二日
京仁龍材木商組合

蠶繭委託賣買業
京城府龍山漢江通八番地 河原壽夫繭絲店 電話四三二番

樂器御案內
山葉オルガン 御家庭に
バイオリン 一室に
マンドリン 野に山に
クラリオネット 青年諸子に
ハーモニカ 學生向に
バンジョー 遊藝者に
大正琴 お婦人に
大和琴 お孃樣方に
卓上ピアノ 一般人士に
尺八 若きにも老ひたるにも
明笛 日鮮人に
京城本町二 勢山樂器店

明治公債株式會社朝鮮支部
▲外務省債券募集 京城府東拓會社構內
電話一九〇八番(振替京城二五五〇番)

八月號 トモダチ
文學士 寺田精一先生監修 毎月一回發行
奇拔鮮麗の教育的幼年繪雜誌 (特別附錄)應用活動ポンチ
▽一部十二錢 ▽六部郵税共七十錢
全國書店販賣 東京麴町富士見町 二葉社 振替東京三一三六三番 電話番町四〇九八番

富之研究
天保錢主義の實際的致富法の指導 實益滿載
▼七月號 定價十二錢 郵税一錢 ▼半年分六十三錢 ▼一年分一圓廿錢
天保錢會[illegible] 大利益[illegible]
發行所 東京神田 振替東京二〇〇八二 富之研究社

家禽界 能率增進號
■一代雜種の活用 外山博士
■能率增進と鷄舍の建方 本誌記者
▲販賣能率の增進と產業組合 ▲有雄の卵增進と假母器使用法 ▲能率增進三大則
■養鷄能率增進策 古任博士
■利益多い肥育業 飯田學士
■產卵能率增進策 渡瀨博士
■養鷄進最新原理 松川技師
▲極度の能率增進煖炭養鷄法 井上學士 ▲合理的經營養鷄增利法 ▲雛の強弱鑑定法 ▲肥育去勢のやり方 ▲卵賣る前
■雄雛の活用法去勢術 齋藤學士
■能率增進と飼料 片山學士
東京神田仲猿樂町十六 振替東京一四〇九七 曉聲社

最新刊 手紙禪
丸山小洋先生編 四六版二百七十餘頁・假名付 定價金五拾錢 送料四錢
禪學の眞髓を知り度き人及び禪文學を味はんとする者は本書を讀め
[illegible]
發行所 東京市日本橋區濱町二 振替二〇五〇〇 須原啓興社

机上に携帶に便益無比の新辭典
文學博士 三島毅先生
文學博士 大槻文彥先生 監修
濱野知三郎先生著
新譯漢和辭典
內容見本無代進呈
漢字典と故事熟語辭典とを兼ね新にして而かも穩健輕便にして內容豐富且つ搜字の自在なる本書は出版界の一異彩として偉大の歡迎を博し註文日々山積せり特價提供中速に御申込あらんことを乞ふ
體裁 縱四寸三分橫二寸七分 新鑄七號活字三段組 紙數壹千貳百八拾餘頁 印刷鮮明總布裝幀高雅
定價金壹圓 特價八拾錢 送料 市內四錢 市外八錢
註文の好機は今
發兌 東京日本橋數寄屋町 振替東京二三七一番 六合館
賣捌 大阪淡路町 振替大阪四三 吉岡寶文館

滿鮮巡業の途にある天下の横綱西の海一行を歡迎す
人參キャラメルを召し上る人は
西の海を知らざるを得んや
製造發賣元 京城藤製菓所
? 天下の横綱 西の海を知らぬ人ありや
天下の製菓 人參キャラメルを知らぬ人ありや
常に
故に
貴顯紳士 軍人學生諸君も 人參キャラメルを要求される
西の海も 人參キャラメルも 天下の誇りとす
●暑中御贈答品には高尚にして體裁優美なる箱詰人參キャラメルに限る

◎日露協約附帶案件

日露協約附帶案件左の如し
（一）東清鐵道讓渡の件
（二）松花江航行權の件
（三）長春哈爾賓間郵便電信協定の件
右の中第二第三の二件は協定を了したれば近く成立を見る可しと（東京電報）

◎協約と米國上院議員

米國上院議員バイス氏は日露新協約は米國の商業上に於ける利益に對し支那の門戸を閉鎖せしむるに至る事なきや否やに關し國務卿ランシング氏の報告を要求する旨の決議案を提出せり（紐育電報）

◎獨潜航艇は荷物船

華盛頓來電に曰く獨逸潜航艇ドイッチランド號の性質を決定する爲め招聘せられたる専門家は同號を以て構造上に非常の變化を加へざる限り戰爭の用に供し得ず武裝せざる荷物船なりと言明せり（紐育電報）

◎潜航艇の構造は軍艦

華盛頓來電に曰く英佛兩國大使は米國々務省に對しドイッチランド號は商船として設計し使用され居るも軍艦となり得べき構造なりと提言せり（紐育電報）

◎獨再び潜航艇派遣
聯合國對米外交問題惹起か

獨逸は近く第二の潜航艇を米國に派遣し再び獨帝の親書をウヰルソン大統領に傳達せしむる筈聯合國は本問題に關し米國に抗議を提出すると共に對米外交問題を惹起するに至るべし（東京電報）

◎支那借款引受乎

交渉進行中の支那政府借款二千萬圓は四國財團にて引受け日本の名義にて應ずる事となるべしと傳へらる（東京電報）

◎英軍占領

倫敦來電公報に據れば英國は十日夜コンタルメーゾンを占領し猶コメッ森林の塹壕數線を占領せり（紐育電報）

◎下加州買收案

米國下院に下加州買收案提出されたり（桑港電報）

◎四鄭線進捗

四鄭鐵道總辦處恩氏は過般鐵路準備事務局を四平街に開き土地の測量及び購買開始に關する事項に就き張奉天督軍と幾回か交渉を重ねたる結果同督軍より吳鎭守使及び沿線各縣知事に訓令して保護及び交渉上の各事項に對し極力協同援助す可きを命じたり而して同鐵道技師長に新任したる滿鐵社員藤根壽吉氏は部員二十餘名（滿鐵派遣員）を引率して同地に到り支那側派遣の技師及び事務員を督勵し四平街鄭家屯間を四區に分ちて已に測量を開始し吳鎭守使よりは部員を派して沿道を警戒し又一方に處局長は沿線縣知事の助力に依り土地購買を進行せしめつゝあり（奉天電報）

◎工場法と委員會

樞密院にては十一日より暑中休暇を賜はりたるも工場法施行令に關する委員會は賜暇中に開會する豫定にて該委員會は既に施行令の逐條審議に入り其の儘修正すべき條項も略決定し居れば委員會は今後一回にて終了し本月中に同案の成立を見るに至るべしと（東京特電）

◎金融依然緩漫

金融依然として緩漫の域を脱せず銀行業者協定の上當座預金は當分無利子となす事とすべしと（東京電報）

◎山名男辭表聽許

禮遇停止を受けたる男爵山名義路氏は曩に貴族院議員辭表提出中の處十一日附聽許されたり（東京特電）

◎日置公使歸朝

日置公使は十六日天津出發海路歸朝の途に就き二十日門司著の筈（北京電報）

◎商工金融機關
京城に於ける金貸業

京城に於ける金貸業は個人の經營にかゝるもの最も多數を占むるも會社組織により事業又は兼業を爲すものを見る所謂して斯業者中比較的低率の利息を以て一般商工業者の多數を有する都市に於ては特に必要にして此種の利益を享有する商工業者なきに非ずと雖も之等は何れも相當の信用を有するものに限られたるが如し近時半島財界の發達につれ一般金利の低下したるに拘らず

▲個人貸借の利率 は今尙甚だ高率にして金貸業者に依り資金融通の途を開かんとする商工業者の事業經營上困難を稍むること左表の如く京畿道内に於ける最近の金利統計に見るも明なり

人種別	最高（歩匣）	最低（歩匣）	普通（歩匣）
朝鮮人間	一、〇〇	、二五	、三〇
內地人間	一、一〇	、一二	、四〇
支那人間	、九〇	、一〇	、三〇
歐米人間	、一五	、一二	、一三
朝鮮人對內地人	一、〇〇	、一五	、三〇
內地人對朝鮮人	一、一〇	、三〇	、一七
朝鮮人對支那人	一、〇〇	、三〇	、三〇
支那人對朝鮮人	一、〇〇	、三〇	、三六
歐米人對朝鮮人	、八〇	、二二	、三三

然れども多數の商工業者中此等高利の資金を運轉して業務を經營し或は奇利を博するが如きもの無きに非ざるもそは極めて少數にして多くの小商工業者は止むを得ず資金の融通を金貸業者に依頼し不知不識の裡遂には負債山積して破綻閉店をなすもの夥しきは其の事實に徵して明なるが如し一般商工業の發達上極めて危險なる金融機關なるを以て其の貸利率貸出方法等に付きては

▲嚴重なる取締 を行ふを必要とすべし其惡辣なる手段を以て他人の財産殊に無智なる鮮人の曖昧を奇貨とし常に横領掠奪の行爲を逞する所謂高利貸質屋業者輩に至りては速に之を撲滅するに非ざれば其害毒計り知る可からざるものあり京城市内に於て内鮮人中金貸業を専業とせるもの無きに非ずと雖も其數極めて少く多くは他業との兼營にして本業の性質上他業に比し多少嫌惡せらるゝの傾向を有し且つ比較的低利の貸出を爲せるものにありても所謂高利貸業と混同視せらるゝを恐るゝ等のため本事業の眞相を調査すること困難なり然して是等

▲金貸業の融通高 は當地商工業の情態金利の關係等より觀察する時は其貸出高は彼の質物擔保の貸出に限られたる質屋業の比にあらず或は其數倍の額にも上る可し昨年中に於ける市内の當業者九十名に就き調査したる所に由れば其内會社組織のもの六、個人としては内地人四十、鮮人四十四の割合にして之が貸出高は百四十六萬一千餘圓、同收高百四十九萬八千餘圓、同年末貸出現在高二百十八萬四千餘圓に達し居れりと云ふ

◎海運界殷賑

朝鮮の海運界は昨今夏枯時期に付例年なれば極めて閑散を感ずる時なるも日郵、商船其他前外船の北鮮及び浦鹽方面に航行するもの少なき爲め朝鮮郵船の關門北鮮及び浦鹽航路は貨客共に頗る殷賑を極め居れりと

◎仁川の生産業 最近

精米業は内地相場不引合の爲め僅に滿洲北清行きを當に手搗に精搗しつゝあり最も閑散を極む染料界は依然原料高の爲め工場は殆んど休止の狀態なり再製鹽業は眼先漁期を控ゆる事迚生産旺盛なれども本年は氣候不順の爲め漁獲著しく不況にして幾分此方面に對する需要減殺せられ相場は前月に比し稍弱保合にて百斤九十錢所を唱へつゝあり金塊は六月中大阪へ輸送せし對山金塊二十五萬一千餘圓逢安金塊十萬二千餘圓にして前者は二萬餘圓後者は二萬九千餘圓を前月に比し減少せり水産業は追々漁期に入り六月中の水揚高は二萬二千餘圓にして前月に比し一萬餘圓を增加したりと雖も例年に比して不漁たるを免れず七月も共に進まば斯業は多少活氣を呈すべし

◎祝賀準備進行 期日は十六日頃乎

日露協約成立の祝賀會開催に就ては内地は勿論鮮内各地方にありても目下夫々準備中にあるもの多き模樣なり京城に於ける同祝賀會の催しに關しては京城府に於て内々計畫中なるが京城は半島の首都として將來兩國交の親善を加ふると共に特に日露貿易等の關係より兩國民の接觸する機會多かる可ければ此機に於て祝意を表する理由大なりとし多數の府民は一日も早く祝賀會の開催を希望し居れりこれが開催のことは既定の事實なれども時日及び場所等に就ては未だ決定せざれども往年開催したる日英同盟祝賀會と略同樣の規模にて大々的に祝意を表する計畫にて聯合國側の各外國人も勿論賛同するに至る可しと

◎鮮銀の浦港成績

朝鮮銀行の直系たる浦鹽松田銀行部の前半期に於ける營業大要を聞くに各業務の取扱數字は鮮銀の手に歸せざる十八銀行時代に比すれば何れも大に增加し例へば銀行の信用を一面より示すべき預金に見るも鮮銀系統となりて大口當座預入の如き何等の顧慮なく持ち込まれ一般の信用漸進の氣味にて半期決算の成績は當初に於ける鮮銀の豫想以上に良好なりと尙此の狀態は昨冬開店以來鐵對留の價の高低甚しからざるにもより又日露間通商の密運を加へ來れるに基づけと見に預ち讓渡を受けて早くより相當の利益を見るに至れる次第也尙ほ内地より浦鹽を通過し露本國に向ふ軍需品の額は莫大のものなれど其の決濟は全部東京に於て行はれ松田銀行部にては關係する所甚だ少なしと

◎養蜂と蜜蠟高

大正四年末現在の蜜蜂飼養戸數は五萬四千一戸にして前年に比し三千百四十四戸を增し、蜂箱は九萬三千七百六十七個にして一千四十個を減ぜり、又た同年中の蜂蜜産額及び價額は五十五萬九百四斤、十五萬七千五百七十七圓にして前年より九萬一千三百三十斤を減し、二千八百六圓を增し、蜜蠟は八萬七千九百三十六斤二萬六千六百三十八圓にして八千六百九斤、三千八百圓の減少を見たり蜂箱數並に蜂蜜及び蜜蠟の産額減少したるは主要養蜂地たる平安北道及び江原道に於て冬季寒威烈かりしと夏季霖雨ありしとにより蜂勢衰弱して貯蜜充分ならざりしに依るものゝ如し

◎鮮内畜牛出産數

最近の調査に依れば大正四年中に於ける鮮内畜牛の出産數は二十八萬九千九百五頭にして、牝牛毎の百歩合は三〇七に當り、之を前年に比すれば總數に於て三千七百三十八頭を增し、歩合に於て〇頭二の增殖を示せり、又斃死數は一萬四千三百八十四頭にして畜牛毎の千歩合は八一〇頭六を算し前年に比すれば總數に於て六百四十五頭、歩合として三〇頭三の增加を示せり

◎平南稻作狀況

平南にては挿秧期雨量潤澤にして已に全部の挿秧を終りたるが本年の水稻作付反別は五萬一千五町五反歩にして昨年の四萬八千四百九十一町六反歩に比し二千五分二厘を增加し尙陸稻は成育良好にして此作付反別四千五百十五町之を前年に比すれば三分四厘の增加率を示し居れり而して水稻挿秧後の狀況極めて良好なり

◎忠北の製織業

通樸業傳習所にて本年度より新たに卒業生十餘名を收容して各種の製織をなさしめ大いに斯業の發達を圖りつゝあることは既報の通りなるが今同永同沃川地方産出の陸地棉に要する袋の材料たる生木綿約一萬五千疋の製織方につき道當局は大邱鈴木商會繰綿部と交渉の結果一疋（四丈二尺）金一圓四十錢にて全部を引受くることゝなり永同にて一萬疋清州沃川にて五千疋を各卒業生に製織せしめ本年中に引渡しを了する豫定なる由

◎鐵原地方繭增產

鐵原地方に於ける本年の産繭は二千餘石にて昨年に比し五百餘石を增加し相場も石二十七八圓より五十一二圓を唱へ昨年より三割高にて最近までに約七百石の出廻りあり蠶繭資金地方撒布の爲め鐵原の市況殷賑廣布十■等の賣行き良好なりと

◎產繭共同販賣

大田恩賜金養蠶傳習所にては從來大田、燕岐、天安、論山の四郡産繭を共同販賣し居たりしが本年も來る十六七八の三日間に販賣する事となり大田郡は既に集り他の郡も又漸次運搬し居れり昨年迄は組合員及び販賣所相互間にも多少不便の點ありたる爲め豫想の成績を擧ぐる能はざりしが本年より改良をなし競賣の如き形式を取る事となりたれば相互に利便を得るを以て本年は尠なくも二百石餘を販賣し得べしと

□支那在留各國人數

支那稅關報告に據れば昨年度支那内地居住外國人及び外國商館數を見るに日本人最多數にして十萬一千五百八十九名商館數三千百八十九次位は露國人五萬六千二百三十八人商館千二百九十八第三位は英國人八千六百四十一人商館五百九十九第四位は米國人四千七百十六人商館百五十七第五位は獨逸人三千七百四十人商館二百四十四第六位は葡萄牙人三千三百人商館三十七第七位は佛國人二千六百四十九人商館[illegible]

◎中學志望者激增

本年度の新入學期に際し京城釜山平壤の各中學校に於ける入學志願者は合計九百四十五名に達せるが其内入學を許可せられ現に在學中なるは京城中學校百四十七名、釜山中學校九十七名平壤中學校百名、合計三百四十四名にして殘部五百餘名は募集定員超過の關係上收容の運びに至らざりしと

◎西水羅新設局

七月十六日より咸北慶興郡芦西面西水羅洞に西水羅郵便局並に鏡城郡漁郎面下松洞に漁大津郵便局を新設する事となりしが西水羅郵便局にては電信及び電話通話事務をも取扱はしむる由

◎隊署長恒例會

十二日午後一時より京畿道警務部にて京城府内各隊署長會議恒例會を開會し諸般の協議ありたり

◎改良米受賞者

忠淸南道江景三南殖產會社及び林精米所にては忠南道産米改良の目的を以て昨年各地方より籾の買入れをなしたるに時期遅かりし結果豫想の買入れを爲す能はず漸く三十一點七百四十四石八斗を買入れ得たり依て是れが審査を行ひ去る九日指宿技師臨席賞書授與式を執行したるが受賞者は十五名にて各一名五圓内大田郡杞城面徐鉉根は二等に選出せられ賞金五十圓を得たりと

人事消息

▲宇佐美内務部長官 十三日朝帝大門發驪州へ出張の筈
▲石井縣氏（羽鶴社員） 入京中の處十三日朝退京の豫定
▲河本吉登氏（楚山憲兵隊長） 入京中の處十二日夜退京
▲能見幸之助氏（京城郵便局長） 十二日夜入京商尾へ
▲牛島完之氏（福岡憲兵小隊） 同上不知火へ

■南言北語■

日獨戰爭や日露協約の功に由て大隈伯が侯爵になつて誰が子爵に誰が男爵になるなんて評判のある一方では▲氣の早い衆議院の連中何うして聞き流さうお互にも論功行賞があるに違ない▲サアさうなると勳四等の古議員は勳三等になる譯だ死だら儀仗兵がつく▲其れとも金杯なれば一個五十圓位のものだらうが銀杯かも知れぬ▲まさか勳三等を貰つては無樣な死樣も出來ぬとすると矢張り金杯の方かねなんかんと大分話がはづんで居るとの事▲ベレスフォード卿と云へば英國上院切つての硬骨で何時も政府のアラを素破拔くのが得意で大分政府は手古摺せる人だ▲過般も海軍の秘密を公然と發き出して船腹不足と云ふけれど英國は擬似戰闘艦十六隻を備へて船腹を無用に消費するは如何▲一體擬似軍艦などは馬鹿氣切つた陳腐だ之に使用した船舶は皆商船である▲其の噸數に於ても現在船腹缺乏の折柄一角役に立つではないかと▲處が此の秘密は素破拔く迄もない事既に世間に漏れて居たので流石のベ卿もフーさうかねは人が悪い▲人が悪いと云へば例の觀樹將軍が工場案問題で伊東、金子、末松、清浦の諸氏と禿頭をつき合つて居る際日露協約成立の報が來た▲一同之は結構結構と褒めて居ると將軍皮肉な微笑を浮べて君等は一とつ石井に頭を表もで奉ては何うかい▲無遠慮に異向から溶せた處は相變らず人が悪い▲尾崎法相が占を見て貰つた處が過去の事が南中を指す樣に的中したので法相大に感服して然らば將來の運勢はと尋ねると▲易者は眞面目になつてハイ今が運勢の絶頂ですで流石の法相も大悄氣▲之は人が悪いのではなく自分が悪いのだらう

◎仁川客月商況 米は農繁期に際會せると天候不順の爲め月末の[illegible]騰を極に相場は割高を維持し金月を通じて龍山物七圓八十錢所を維持して[illegible]要之叙上の如く一二特殊品を除く外一般貨物の取引少く市況依然閑散に越月せり

[illegible]京城地方法院にて[illegible]九十の處分となる

◎平南安州近況 平南安州に[illegible]雜品を強奪して逃亡[illegible]商人は何れも[illegible]つゝあり而して市中の金利は大口一分二[illegible]預金三千七百七十三圓七十九錢の減少を見たりと云ふ叙上の如く商取引[illegible]又仁川港經由[illegible]

避暑に旅行に緑陰に
[illegible] 第十編 紀伊國屋文左衛門 錢屋五兵衛 富岳南雲演 最新刊
一 木下藤吉郎 二 伊達騷動 三 赤穗義士 怪談牡丹燈籠 佐賀の夜櫻 見武勇傳 天一坊 野名曲雷 村井長庵 七 佐倉宗五郎 文殊九助 八 由井正雪 九 大久保彦左衛門
新刊 11 幡隨院長兵衛 12 荒木又右衛門 塗川五郎 13 羽柴筑前守
東京 博文館 本町

御贈答用最適品

櫻正宗 櫻魂 瓶詰化粧箱入
京城明治町二丁目
山邑京城支店
電話八四九番一五四番

水車 唐箕 萬石 籾篩 製造販賣
京城府南大門通り

三輪商會
旭町第一工場 黄金町第二工場
戸田春藏
電話三八六番 振替口座三二七五

日韓書房
新版報告
總督府編纂 朝鮮林野分布圖 定價三圓 送料十二錢
何休庵主人著 參禪實話 定價一圓 送料十二錢
渡川善吉忠雄著 嘉言一日一訓 定價七十錢 送料八錢
仁門紹賢著 戰場秘話 定價一圓 送料十八錢
教育學術界記念號 聖タゴール 定價六十錢 送料八錢
京城本町二丁目
電話一四一・五 振替口座二二・七一

野戰迄には
まだ仲々だらう
軍司令官　井口中將談

最近に於て東歐戰場露軍の優勢なのに相應じて西歐戰場の英佛軍亦頻りに進出しつゝありとの情報が來る矢張り怎も東西相呼應して

▽攻撃動作が開始 されたものらしい故キッチナー元帥の露西亞へ赴かんとした用件が其れであつたらしいとも云ふ噂は事實かも知れない素より軍機に關した事は絶對に秘密になつてゐて觀戰武官は絶對に報告をもたないと云ふ條件で行つてゐるのだ萬一機密事項が推察されたにしても夫れは情報すべからざる事と成つてゐるのだから今度の東西共同作戰が事實協定せられた動作であつたとしても夫れが正式に報告される事はない數百哩に亘る

▽西歐戰場の塹壕 設備は要塞同樣と云ふよりも寧ろ要塞以上の堅固さであつた夫れに戰爭以前乃至戰爭開始の當初に於ては陣地は總て一線制で數線に力を分たなかつた是れ力は數分するよりも一箇に團決せしむる方が強大であると云ふ譯であつたが最近の戰線は三線にも四線にも戰線を重複せしめ其一線が又幾重もの塹壕や堡壘から成立つてゐる防禦に對しては双方共に其れ丈けの設備をして置いて今度は攻擊と成ると一箇師團を八箇に分類し

▽六箇中隊を一隊 として八重隊を作り是れが幾箇師團幾十箇師團と無く並列してヒタ押しに押寄せて行く六箇中隊の正面は二キロか三キロ位に過ぎないが其れが何十箇師團と成るのだから防禦設備と同樣に莫大な攻勢となる譯である恁うしてでなくては一塹壕と雖も占領する事は出來ない程に要礙であるのだヴエルダンの防備なども巴里から要塞線迄二條の鐵路があつて斷わず後方との連絡はとつてゐるもの〻無論其れでは足り無いのだから自動車で連絡をとり現に

▽四千臺の自動車が 二十秒毎に一回宛發著してゐると云ふ其道路に對しては二萬人の人夫が懸つてゐるが是れで沿道七米突に一人宛立つてゐる割合と成り道路が少しでも破損すれば忽ちに修復し秒分の間と雖も不通にしない樣にしてゐると云ふ有樣である是れはヴエルダン要塞に對する佛國の設備であるが獨逸側でも英吉利西側でも無論同樣である是れ丈けに設備が完全してゐるからこそ今日の樣な大戰爭も出來るのだ

▽シャンペーニュの 戰爭に於て佛國は野砲百萬發、重砲十五萬發を放つたと云ふ。日露戰爭の時遼陽會戰に露軍が野砲十五萬發の豫備砲彈を打ち盡したと云ふのでクロパトキンに大目玉を喰つたと云ふ事だが今之を思ひ見れば全く隔世の感がある是れは双方共に要塞以上に嚴重な戰線を築いて置き共處迄の後方は市街地以上での戰爭なのだ是れが文明の戰爭なのである處が一歩でも此戰線を踏み出せば道路は破壞され鐵橋は崩壞され加之鐵道は無く全くの野蠻時代に返へるのだ鐵道も自動車も利用されない

▽奈翁時代の戰爭と 何の選ぶ處もなくなつて來るのだ文明の戰爭と野蠻の戰爭との間には唯一歩要塞線があるのみだ――今英佛軍が頻りに優勢で進出に進出を續けると言つても仲々野戰狀態迄には進み得ないであらう塹壕の延び合ひでも大抵ではない野戰迄にも仲々だが愈々野戰となつたとすれば又大變だ我輩の考へでは野戰迄には尙多少の時日を要するであらうと思ふ

□育兒問題（一）
京城高等女學校長　成田忠良

□一の問題に關し甲乙の論者が互に論爭をなす場合に注意すべきことは議論の要點をそらさぬことである。如何なる事件といへども見方によりては善くも見え又惡しくも見える。從つて其の見地と論據の要點をきめてかゝらねば、言ふ事が互に喰違つて、何時までたつても盡きるものではない。新聞紙に見える投書を見ても此の問題について、第三者の公平なる立場から議論するとその此の論據がないでもないと思ふのであります。□私は目下內地へ出張中で議論の記事を見ないから如何なる人の如何なる意見が問題となつて居るか判然しないので、之に對する確たる斷案を下すことも出來ないが、論者の樣子をよく考へて見ると、夫人の行動を非難する側の論は其の夫人の子供に對する信愛の如何といふ人格問題を主眼とし、子供を扶け起さなかつた事其れ自身を倫理的に取扱つて居るやうに見える。其れを追つて夫人を難ずる側の論者は夫人が子供に對する信愛の有無といふ事は先決問題として、子供を扶け起してやらなかつたといふは育兒上前に其の當を得て居るといふ方法問題である□此の人格論と方法論とを混淆して居る爲に、議論の結末がつかないのである。一夫人の人格問題ならば、唯此の一事實をのみ捉へて直ちに薄情呼ばはりをするのは餘りに早計ではなからうか、母たる務を投却した夫人さか、子を思はざるの母とか罵倒するのは餘りに淺薄な見解ではなからうか。況んや此の如き個人問題は公開の新聞紙上で輕々しく云々すべきことでなからうと思ふ。□後者の方法問題としては、其の夫人が世間普通の母の如く我が子に對する愛情の濃かであることを前提として、其の行動に賛成の意を表するのである。□勿論年齡にも場合にもよるが、所謂何の危險も迫つて居ない場合で、自ら起き得る位に見當であれば、手を下して扶け起してやりたい情を抑へてわざと自ら起ち上らせることが、育兒上大切なる事であることは誰が考へても一致する處であらうと思ふのであります□チヤホヤ世話を燒くばかりが小供を愛するのではない。傍より見て潜んで居るとも同情してやらねばならぬ場合が世に到る處にあると知られぬ苦心が我子を育てる上にも潜んで居るといふ事を考へて、皮相な觀察攻撃はせぬことにしたいものだと思ふ。□古歌に「あしにひまなきわが思かなたゞ見れば何の苦もなき水鳥の」と詠じたのも……（以下判讀困難）

二日午前折柄の雨を衝いて青山練兵場を出發せし其の行程は碓氷峠を超えて天龍川の右岸に沿ひて下り岐阜の原を過ぎ京都を通過して大阪著の豫定にて八日間を要し使用自動車は乘用三臺貨物用三臺なり（東京特電）

◉聖慮鴻大
一木內相に難有御諚

十日　天皇陛下帝國大學臨幸の砌突然鹵簿を犯し直訴せる不敬漢ありしとは既報の如くなるが右に對し一木內相は恐懼措く所を知らず直に參內し警衞不行屆の廉を以て進退伺を奉呈したるに　天皇陛下には內相に對し其の義に及ばずとの寛仁なる御沙汰あり尙同日鹵簿警衞の任に當れる部下の責任者に對しても嚴重なる處分は差控ふべき旨有がたき御諚を賜はりたり（東京特電）

◉美術展覽會
來十月上野にて開會

文部省美術展覽會は愈々來る十月十四日より十一月二十日迄上野公園竹之臺に於て開會の事に決定し十二日の官報を以て發表せられたり事務所は九月三十日迄は文部省內に十月一日以後は會場に設け出品は十月一日より同五日迄の間に受理すべく閉會後十一月二十七日より十二月十日迄京都陳列館にて開會の筈なり（東京特電）

◉雨を衝いて大阪へ
陸軍自動車班の遠乘

我が陸軍軍事自動車班の創設せられてより滿一箇年其の間滿洲に奥州に其の試乘をなしたるが今回愈々大阪方面に長途の試乘をなす事に決し十二日午前折柄の雨を衝いて（前掲）

◉鴨江對岸の馬賊
民家より數萬圓を掠奪
鮮內地の旅行者增加す

義州憲兵隊より十一日總務總監部に到著したる電報に依れば六月二十一日長白縣八道溝北粉房地方に銃器を携帶せる馬賊頭目元長白縣巡防兵たりし劉驅海以下約六十名現はれ八道溝を襲はんとせしも官憲の警戒嚴重なるより目的を果さず翌廿二日七道溝を通過して六道溝方面に退却せり六道溝附近にて地方民家より金品約二百餘圓を掠奪し去れり又寬甸縣天華溝附近の山林は馬賊の巢窟にして昨年も該地を根據として寬甸縣下を横行せしが本年も亦同縣下同樣に馬賊出沒して民家より財貨數萬圓を掠奪せり尙碧潼對岸一帶に亙り目下商家は閉店し商業取引行はれず農家は耕耘を廢して避難し悲慘の狀を呈せり故に對岸支那人は鮮民の幸福を常に羨望し內地人に接する毎に日本臣民たらんことを希望し昨今鮮內地江岸道路に支那人の通行者非常に其數を增加せり是等旅行者は馬賊の被害を避くる爲めなるが如しと

◉福田和五郎控訴
大隈首相狙擊事件にて無期懲役の宣告を受けたる福田和五郎は花井、三宅の各關係辯護士の手を經て十二日控訴したり（東京特電）

◉朝日山の葬儀
十六日四天王寺にて

十一日死去したる大阪相撲協會取締朝日山四郎右衛門氏の葬儀は大阪相撲協會々葬とし十六日朝四天王寺にて執行することゝなりたり（大阪特電）

◉漁船に發砲す
去る八日遼東熊岳城沖合に鯛を漁しつゝありし一漁船に對し支那巡警發

◉發狂して自殺
高陽郡碧蹄面大慈里劉今先（三二）は發狂して七日午前十時頃夫の外出中自宅內房の梁に藁繩を掛け縊死を遂げたり急報に接し高陽署より係官出張檢視の上屍體は妻へ引渡せり

□大相撲の乘込み（南大門驛に於ける西の海と大錦）

◉三年前の拐帶者
大正三年十二月釜山元慶南水產會社に雇人白琮基（二七）が小切手を盜用して農工銀行より金三千圓を受取り其のまゝ逃走したる事件あり爾來今日に至るまで其筋にては各方面に向つて手配を怠らざりしが此程に至り白は京城にて捕へられ十一日釜山署に[illegible]

◉女子師範の巡業團
東京女子高等師範學校の滿鮮地方修學旅行團一行十七名は十一日午後四時教授森岩太郎氏監督の下に東京驛を出發せり（東京特電）

◉行商人の頓死
京畿道加平郡上面店峴里李完淳（四〇）は雜貨行商をなし京城よりの歸途急性の胃病を惹起し七日午前七時頃抱川郡內村面俺峴里吉太弘の所有新築空家に倒れ込みて絕命し居れるを係官出張檢視の上死體は妻の弟に引渡せり

◉洗濯女溺る
高陽郡龍九面倉前里鄭桂玉妻崔阿基（三六）は七日午前十時頃玄石里の漢江岸にて洗濯中誤つて深水に墜落して溺死し同日午後延禧面蘭芝島附近にて屍體を發見したり

◉土地代を横領
咸南咸興郡北州東面會上里金鉉默（四）は一門の共有に係る會上里所在山地の管理及び祖先の墳墓の看守を勤務中該地所は先頭軍用地として買收せられ去る四月二十二日郡廳より其の買收料及び墳墓移轉料合計三百七十四圓餘を土地所有名義人なる金鉉默に交付したる際同人は之を一門の者に分配せず悉く横領して消費し或は隱匿しゐたること發覺し咸興地方法院にて懲役十箇月の判決ありしを不服とし京城覆審法院に控訴せり

十三日正午締切
優勝力士豫想懸賞

▲愈々初日
東京大相撲は愈々今十三日を初日に每日早朝から晴天五日間明治町東拓前廣場に開場される事となつた、前景氣の盛んなる事既報の通りで初日には京城三[illegible]番三百名並に櫻ビール百五十名の團體見物を始め連中見物が非常に多い、初日の取組は左の如し

△初日取組

鎗西山（成瀨山（大門岩（稻葉嶽
朝日山（福柳（駒泉（常の花

近江藤（港（紫雲龍（龍ヶ崎
逆鉾（若木山（四海波（釋迦嶽

梅川（宮城山（栃木山（源氏山
九州山（兩國（大の川（對馬洋

綾川（宇都宮（西の海
朝[illegible]（大錦（小常陸

△本社番外好み
宇都宮
兩國

角力雑俎

▲綾川來著
病氣のため一行に加はらなかつた綾川は十二日朝著の汽車で入京した京城在住の明大出身者の中心となつてゐる綾川會では大に同人を後援すべく小川勝平氏等が奔走してゐる

▲木戶割引
大相撲京城興行中本紙刷込みの木戶割引券持參の人に限り三十錢の木戶を二十錢に割引する事になつてゐる

◉戀の駒下駄
全南濟州島生れの姜基好（三二）は京城長谷川町に居住中六月下旬知人なる京城本町四丁目の大樂湯の雇人李汝煥の情婦なる李重生が汝煥より虐待せられて基好を尋ね行きたるより遂に相通じて同棲したるを七月三日に至り汝煥が發見して基好方に赴き女を連れ歸らんとしたる事より爭論を惹起し其際基好は汝煥の駒下駄を奪ひ取つて同人の後頭部、大腿部等に治療十日を要する創傷を負はせたる事件は京城地方法院にて基好は笞六十の處分となりたり

◉大弓射的場の新設
京城大弓同好者集合の上此回竹添町一丁目一番地に射的場を新設し毎日午後四時より開場し居れるが飛入り勝手次第也と

◉山室夫人の訃
救世軍大佐山室軍平氏夫人は最近病氣に罹り東京濱町病院に入院治療中の處十二日午前十一時終に永眠せりこの報當地救世軍大尉の許に著電せりと夫人は今年四十二歲姙娠中にて今月が臨月なりし

◉暴風警報
（七月十二日午後三時發）

▲警文　風雨强かるべし▲低氣壓位置　朝鮮西岸▲低氣壓示度　七百五十四粍▲進行方向　東北東▲警戒區域　咸鏡南道、江原道、慶尙南北道の沿岸及び內陸

讀者文藝
（一等には五十錢の書籍切手を呈す）

◇狂歌『ラムネ』

○贅應のラムネ口より零るれば女房氣にする借り羽織哉（一等）　忠北保川面　櫻井緋鯉
▲奢らせて飮んだラムネに答ばなし然ず香つて痛めたる腹　京城　新人生
▲午後三時盛殿の夢を醒さんとラムネの喇叭吹きにける哉　京城　柳　琴
▲コツソリと飮んだラムネは喉にも出さぬ罰にはいかね苦しさ　平壤　柏野　北州
▲すぽこぞと抜けば玉散る玉ラムネその切れ味は胸もよくなり　京城　七三郎
▲周章者ラムネの瓶を殺がへし泡な吹いて泡を飮んだり　全南海南　野村　大羊
▲一瓶で滿足そうもないこの暑さラムネの瓶はカラ〱となる　龍山　ちける坊
▲ラムネでも顏摘持ちと見えにけり泡な吹いては目を廻すなり　楊州　酩酊守

■俗謠題『風鈴』　締切十二日　發表十四日
川柳題『記』　同十三日　同十五日
物は付『思ひ出すのは』　同十四日　同十六日
一口噺題『電話』　同十五日　同十七日
謎題『貸出しと掛けて』　同十六日　同十八日
次回狂歌題『土用干』　同十七日　同十九日

■募集規程　▲用紙は端書又は同型の洋紙一枚每に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲選就は一週間後▲種類の異る毎に用紙を更ふる事▲一種二句以内の事▲此規程に違はぬものは沒書

讀者優待

東京大相撲割引券

本券御持參の方に對しては一名限り三十錢の木戶を二十錢に割引致候

京城日報社

―京城興行中―

京日案內
普通（一行前金三十錢）　番外（一行前金六十錢）

▲求女　二十前後　日給三十錢　本店員　山崎　685
▲家庭教師　大平通二の五八の四　家の家庭教師に被雇度し　高等學校工科三年生（性名在社）良　683
▲地圖各種▼世界二〇五●南洋二〇〇●日本一〇〇　本町●振替●朝鮮二〇●ウツボヤ書店　616
◉店員入用　京城明治町二丁目　年齡十五六歲のもの　宇治屋茶店　687
紙袋張內職　京城明治町一丁目五三　日數入用拾名　清寛支店　686
△支那語會員募集△　京城支那語學會　京城正門前北支那寺內　688
▲至急十名入用　身體健全なる勞働に堪へ得る者　京城青葉町電話一九六六　希望者本人來談　五大橋大三郎　690
◉鍼灸專門●神經痛、胃病　京城並木町五十八番地　佐野回春堂　640
◉見習店員急入用　本人來談　京城旭町一　年齡十五六歲の者至急　確實なる保證人を要す　月桂冠支店　675
看護婦及見習生若干名入用　希望者至急申込まる可し　京城日報社仁川支局　660
店員至急入用　年齡十七歲より二十歲　龍山驛前森下酒店　663
店員　電話百二番　二十五歲以上の者　經驗ある者　京龍間に確實保證ある者　龍山榮町　平田屋吳服京染店　678
藥劑師　至急　年二十二歲位　履歷書添へ御照會を乞ふ　平北寧邊郡北鎭　眞田泰山堂藥房內　684

勸業債券高價買入　並に月賦販賣　諸公債現物買入　京城府太平通二丁目電話二八三一　商業銀行朝鮮債券部　689
新舊債券月賦販賣　有益なる仲次店外務員募集　業案內無代進呈▲京城櫻井町一丁目　百五大阪債券株式會社代理店　池田
店員入用　尋常小學卒業程度　市內保證人二名要す　希望者履歷書携帶來談あれ　京城本町一丁目　塚谷出張店　677
京城春川間乘合自働車　賃金片道四圓　京城發午前八時　春川發午前九時　電話武壹參八番　京城水標橋通り　支配人　松田壽男　◉春川自働車商會　50
電話開通二八五七　萬染物商　京城魚市場牌　若宮染工場　634
◉京城春川間行自働車　賃金片道四圓　每日午前八時出發　◉南大門通一丁目　電話二一九番　廣橋自働車　主務　金正淵　648
恩給低利　年金　退隱料　立替　特別御便利　何年分でも　如何樣にも御相談仕候　京城若草町百六番地　西村商會　617
恩給年金低利　數年分　即時御立替　▲保證人不要　短期無保險契約　京城永樂町一丁目　商品陳列館表門前　江州屋本店　625
◉ほねつぎ（うちみくじき）等　一切の治療御依頼に應す　明治町　柔術道場　632
小兒科　內科　大和町二丁目（日の出橋下る）　爲春堂醫院（電話九二八番）　院主　古城　儀吉　645

內科　小兒科　女醫　川崎朋子　京城明治町二丁目　電話一五〇四番
分析　礦物各種　坂元分析所　京城太平通二ノ一二五　668
ゴム風船　ゴムホーツキ　子宮サック　サック外諸ゴム製品製造卸　電話一三四四　振替九〇二六三　京城太平通大漢門前　太陽ゴム商會　674
本人の祖錄文なる者纂文と同伴し本人土地文券を擔保借財し酒色に濫用候間右錄文を誘引する者は一切許可及勿論內外國人は貸金損失の憂なき樣爲念謹告す　陰城郡廿谷面旺場里十四統八戶　李容文　親權者　朴聖暉

新刊書御案內
書名　著者　定價
書翰書規定法　全二　特八〇
字典　一五〇
科學の價値　田邊元譯　一三〇
一日一訓　七〇
簡易生活法　西村文則　八〇
國民道德要領　吉田靜致　一五〇
參禪百話　一二〇
エレン・ケイ女史　兒童の世紀　原田實譯　一三五
チラシの書き方　清水正巳　八〇
明治裏面史　伊藤痴遊　一五〇
日本登山案內　一〇〇
世界商業百話　石井研堂　八〇
聖タゴール傑作全集　六〇
百萬弗の秘密　一五〇
高杉晋作　一二〇
神　前　五〇
古錢の話　五〇
大阪屋號書店

十二指腸病　說明書は往復葉書にて申込次第進呈　大邱府東城町　電話四六三番　振替京城二五七三　水田藥院　軍人學生諸君特別割引

西の海　時計屋ハ　ムラキ
京城本町二　村木時計舖　京城支店　電話七一番

新築中と雖も營業はいたします
何卒御ヒーキに願ひます
京城新町　汲月庵　おとく敬白

……買進み少き爲め相場行惱み月末千圓……七八十錢を唱へたり大豆は不相變品望薄なり及び將者は輸入百斛を算し夏向飲料品と共に稍市場を賑はせり……は永登浦皮革會社の廢物石灰の撒下げ及び肥料汲取を請負ひ居れる京城……日夜及び翌日の二回……里の深山方に侵入して同人を毆打負……の强盗侵入し成旭外二名……家人を縛し所持せるナイフを以て脅迫し……す穀物の取引相等に行はると雖金融は依然として緩漫の態にて城內の御……前日より三千五百圓……七十二錢を增加し……の移入を見其額三萬八千圓に達せり……圓三十五錢同搬出九萬二千百圓十三錢……圓十四錢なり

女鳩　渡邊默禪

『三四』呪の主は誰

と、鳩子は賑やかな瞳を微笑に動かして無邪氣に斯う言つた。

『だつて空とぼけとしか思へないわ、偶うでせう。第一私、そんな人を知らないんですもの。つひ一遍だつて逢つたことがない人ですのに、殺さうと思ひ詰めてまでに私を怨むといふのは詳しいぢやありませんか。元も自分すら氣がつかないことで、人から怨を受けるやうな種を蒔く場合も、それは世間に無いことではないでせうが、それにしても多少知つてゐる人でなければなりませんわね。それですのに全然記憶にない人なんですから、私不思議でならないんです。』と言つてから急處を押すやうに『貴君、如何してそれがお分りになつて。』

『いや、分る理由があるんです。それをお話する前に考へて戴きたいことは、社會といふものは決して貴女が思つてお在になるやうな單純なものではなく、もつと〳〵複雑なものであるといふことです。十人十色の心と心とが銘々に違つた働きをして、さうして各自に自分の行きたいところに行かうとして、協同したり衝突したり、組んだり解れたりしてゐる。力と力との爭ひ、感情と感情との啣合ひ、笑つたり泣いたりする千變萬化の渦巻を手にとつて、昆虫生活を研究する動物學者のやうに冷たい眼で眺めたら、それこそ實に不可思議なものでせう。貴女はさうした複雑の社會に立つてゐらつしやることを意識なさらないぢやありませんか。皮相ばかりを御覧になつて、裏の方にはまだ眼が透らないのぢやないでせうか。此と過ぎるかは知れませんが、自分の心も他人の心も同じだといつたやうに考へてゐなさるぢやありませんか』

熱した語氣が刺すやうに鳩子の胸に迫つた。彼女は凝然として聞いてゐた。大野はそれに満足して

『その男はいかにも貴女の知らない人間でせう。知らない人間であるのです。そこに深い意味が籠つてゐるのです。その又た危險も伴つてゐるのです。その男は貴女に顔を知られてゐないのを幸ひに、貴女に油斷させて不意に危害を加へようとしてゐるのかも知れません。その男は貴女を知らず、貴女に何の利害も持たない人間であつたとしても、其の男と親しい者であつて、貴女を知り貴女に利害を持つた者が無いとは言へないぢやありませんか。それが貴女を殺さうといふ恐ろしい計畫を立てたけれども、自分で手を下せない譯があつて、故意と斯ういふ無頼漢を抱込んで、事を仕了せようとしたのだと見れば、凡ての疑問が直ちに解決するでせう。貴女と全然關係のない他人を器械に使つて、目的を遂げようとしたのが先の悪猾いところで、一つは警察をまごつかせてやる手段にもなるし、又た取捉まつたところで、その男の口から秘密が暴れない以上は、自分に飛ヶ沫のかゝつて來る心配はないです。彼の晩みんなはいろ〳〵と判斷に迷つてゐましたが、僕だけにはちやんと分つてゐました。是は決して盗むといふのが目的ぢやない、お孃様を殺すのが目的であつたんだ。その前に時計を盗つたのは、普通の賊だと思はせる爲め、又た短銃を盗つたのは、手持に狙撃されるのを恐れた爲めだと斯う判斷しましたけれども、少し考があるので態と黙つて居たんです』

それに添へて昨宵ひそかに聴取つた源作親子の話を語つて聞かせると、鳩子は體を石のやうにして茫と突立つたまゝ、動揺した心の旋律を高い呼吸に見せてゐたが、頓てびり〳〵と眉をうごかせて

『すると誰なんです。私を呪つてゐるその本人は？』

内科小兒科　外科　産婦人科　各科分擔　診察午前九時より午後九時まで　京城本町三丁目　今村醫院　電話一八三一

音律正確　構造堅牢

西川製ピヤノオルガン販賣元　京城南大門通二丁目　堀井謄寫堂京城出張所　電話長四〇二番

北より南へ　義朗

五月十二日春川より洪川まで
枯萱の殘る水邊や大蕨

洪川滯在
客長く去なで眠たや時鳥

五月十五日洪川發麟蹄まで
峠へて又暗きランプや時鳥

五月十八日横城より原州まで
渡船場の上に岩壁や杜鵑花

五月二十三日原州より堤川まで
青鷺や雨後の落暉に飛ぶ低し

五月二十三日堤川より寧越まで
鋤き返す地蟲拾ふや雨燕

五月三十日平昌より旌善まで、三船長安技手と同行
指導標異區々いづれや鬼薊

旌善郡所見
夏帽の紳士と見れば教師哉

星暦嶺の嶮を越ゆ
山路數へ下るや谷靑葉

夏川に家鴨浮べて住む山家

六月一日旌善より臨溪まで
立枯の松の大さや野火の跡

六月二日臨溪より三陟まで
擔軍の群飯炊き居るや谷若葉

六月九日蔚珍より浦項まで
闇の夜を解舟遠さや五月雨

浦項所見
平原や家斷續す麥畑

讀者の領分

▲余は一昨年桃岑に水蜜桃を接ぎたり然るに昨秋來接木の個所より頻りに飴の如き『ヤニ』を吐き出せり仔細に之を檢すれば其接木の個所に白き蛆虫喰ひ込み居れり偖今春來繁茂せし枝葉に綠色にして小蝶の如き小虫一面に發生し且つ此頃は其處に金銀色の蜘蛛隙間なく附落し居れり驅除の方法なきや敢て博識の士に質す（武陵の人）▲僕は旭町に住居致し居候然るに附近の湯屋そば屋の煙突より吐出す煤煙が二階座敷内に一杯フツ〳〵と飛散し坐すれば白地の浴衣迄で眞黒くなり是れには殆んど閉口します一週間に二度位は煙突掃除を實行して貰ひたいが實に迷惑千萬です（黒ン坊生）▲イングリッシュの先生の奥様はなか〳〵お若い方には似合ないあはれみ深いお方で居らつしやいます私はつい御近所に往つて居る者で御座いますが一家は誠に貧困で御座います故奥様には大變に色々御恩をかうむつて居ります昨年お子様がお出來になりましたます〳〵御一家の御繁榮を祈ります（貧しき母）▲去二日の日曜日に大和町二丁目の某婦人は或る貴重の遺失物を拾得し猫婆をキメ込んで今に交番所へも届けぬ相だが夫れでは公德心に反いて居る許りか拾得物規則にも違反して居る交番所から取調に來られぬ内に遺失主へ返すか交番所へ届け給へ（見て居た生）

新刊紹介

▲江戸研究川柳吉原志　遊里吉原を詠じたる川柳に依りて生粋の江戸趣味を味ふと同時に純粋なる江戸文學の半面を覗はんとせるもの、句を集むる事數萬之を吉原の沿革、遊郭、遊女、遊客及び吉原以外の遊所の五編として更に各編を數章に分ち風俗、慣習、地理、流行、制裁其他街々に…（東京市牛込區白銀町二〇）

▲戰塲秘話　三十七八年戰役に…

▲都會及農村（七月號）

▲經濟之日本（七月號）

▲盆栽と園藝（七月號）

▲子供之友（八月號）

七日ツケタラ鏡をごらん色白くなるゲンソ液　小壜二十錢　四十錢

今東京で大評判の白美の元素色黒き顔赤き顔日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに根本的色白く眞の美人美男子となる　全國の藥店小間物化粧品店に販賣す近所に品切の時は代金丈の郵便切手を送れば送品す　東京和泉橋際ゲンソ液本舗　松本藥店

りん病　ばい毒　專門藥房

近頃弊社の東京京城及偽ドラッグを開店し、有り觸れたる賣藥を調製して其筋の免許を得、藥名を模倣し以て世人を瞞着し、免許藥味と販賣品とは別物にて僅に十錢の原價を投じて二圓の定價を貪り罰せられたる者も有り。

右の外紛はしき商號を用ふる者續出せり眞正なる弊社製品には凡て爲物若くは模造品なり弊社は藥効上の責任を重んずる爲他店に取次販賣を許さず直接御注文を乞ふ。◎りん病藥一週間分普通貳圓特製參圓◎ばい毒藥一週間分普通壹圓廿錢特製貳圓◎詳細本月一日の本紙御覧

京城南大門外停車場通り　ドラッグ商會鮮本部　振替京城四六七番　電話二五六七番

本舗　大阪　合資會社ドラッグ商會有田製藥

世界各國輸出品　金牌受領　猪印のみとり粉

山豚票　벼룩과빈디잡는약

定價　吹出敷布器入金二十錢　立罐入金十錢、金五錢

到ル處ニ販賣店アリ

中元暑中御進物用

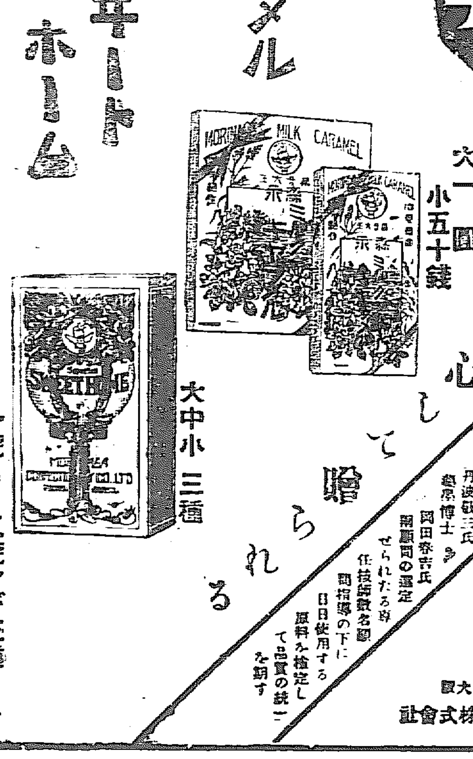
森永の菓子

森永ミルクキヤラメル　大一圓　小五十錢

スヰートホーム　大中小三種

スポンジメキスト　一號ヨリ五號マデ五種

ミルクキヤラメル詰合　大二圓　小一圓五十錢



安心して贈られる

當會社特設の化學試驗部に於ては藥學博士丹波敬三氏農學博士鈴木… 岡田容吉氏顧問の選定せられたる専任技師數名顧問指導の下に日日使用する原料を檢定して品質の統一を期す

東京　大阪　森永製菓株式會社

5—6

商況

大阪株式特電

京阪電鐵　和歌山紡　合同紡織　鐘淵紡織

大阪三品

▲十二日後場　七月限　一三五、五〇

下關期米時電

後場寄付十三圓五十三錢止め五十一錢△中限寄付十三圓九十六錢止め九十一錢△先限寄付十四圓四十一錢止め三十七錢

仁川米豆取引所

▲十二日後場　大阪前場十四圓三十六錢後寄…

▲後場の手振り　十三錢と返して敢合を告げたり市況は依然保合にて一向取引立無き道する程の材料なく小變動に終つた

重なる賣方　三千鈴石◎…

▲現物界　先の保合に油斷すべからず…

汽船釜山出帆廣告

○立神丸　門司、神戸、大阪行　月　日後五時出帆
○立神丸　元山、清津、浦鹽行　月　日後十時出帆
○小倉丸　門司、神戸、大阪行　月　日後五時出帆
○小倉丸　元山、城津、浦鹽行　月　日後十時出帆
○第三琴平丸　元山、西湖、新浦、城津、清津行　月　日後六時出帆
○第三琴平丸　門司、宇品、神戸、大阪行　月　日後六時出帆
○天眞丸　佳須奈、嚴原、壹岐、博多行　毎月二日九日十四日廿一日廿六日（午後十時出帆）

釜山港埋立新町　本船取扱店　大池回漕部

山縣五十雄　村上唯吉共著　富の道しるべ　價十五錢　郵税二錢　京城太平通　振替三〇〇番　京城日報社代理

阿波共同汽船仁川出帆

阿波國府命令船
○芝罘、大連行
第二共同丸　七月十四日後二時入港　七月十六日前十一時出
朝鮮鐵道主要驛にて青島行元期船便積荷客共直航船と大連にては荷客運輸送御取扱仕候同航運賃にて通し輸送御取扱可仕候
○城津、清津、浦鹽行（元山出帆）
第一阪鶴丸　月　日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行
第三共同丸　月　日前八時出（元山出帆）

阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店　本町一丁目（電話一〇八番）山下回漕部
元山代理店　春日町（電話二四四七番）田口回漕部
京城取次店　南大門（電話二六八・二〇一七）河村運送店

朝鮮郵船出帆

本社　電話長一九五二番二三一番
京城南大門驛前　本社及社外船ニ船客運帶物送の便あり　京城荷客取次店　松原運送店（電話長一七〇番）

○全羅丸　七月廿一日
○京畿丸　七月　日
○黄海丸　七月十五日
○成鏡丸　七月廿五日　釜山發
門司より釜山各港寄港雄基間航路

○德城丸　七月　日
○昌平丸　七月　日
○鏡城丸　七月十六日　元山發
元山より各港經由雄基行

○忠清丸　七月廿五日
○平壤丸　七月十七日　元山發
城津浦鹽行復航元山より門司又は長崎行

○永興丸　毎月廿八回　元山發
北久味、五里浦行

○盈德丸　七月　日　釜山發
甘浦、九龍甲、浦項各港寄港鬱陵島行

○江陵丸　毎　日　釜山發
○襄陽丸　浦項發
長生浦方魚津寄港

○三浦丸　七月　日　釜山發
長承浦、麗水、巨文島濟州島各寄港

○濟州丸
○統營丸　毎日　釜山發
各港經由麗水行
○巨濟丸
○慶寶丸　（三日目一囘麗水通行）

○順天丸　三日目毎ニ　木浦發
各港經由麗水行、麗水より釜山行に接續

○慶興丸　七月十四日　木浦發
各港經由濟州島行（西廻）

○慶興丸　七月　日　木浦發
南多島海列島行（月三回）

○公州丸　七月　日　木浦發
各港經由濟州島行（東廻）

○宗信丸　七月　日　仁川發
海州他各港經由、德積又は白翎島行

○江原丸　七月　日　仁川發
青島、大連、芝罘行

○麗水丸　七月　日
○晉州丸　七月十五日　仁川發
各港經由木浦行

○錦江丸
○南陽丸　毎日午前　仁川發
江華島、桐鷲島、海州行

日本郵船仁川出帆

○大連、太沽牛莊行
相模丸　八月六日　正午出帆
高砂丸　七月十五日　正午出帆
三河丸　七月廿六日　正午出帆

仁川海岸町二丁目　電話十一番　堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
君か代丸　七月　日後四時出帆
大有丸　七月十六日後五時出帆
神代丸　七月　日後五時出帆
秀吉丸　七月　日後五時出帆

仁川海岸通三丁目　電話五十九番　高杉回漕部

大阪商船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、關門、神戸大阪行
○安東丸　七月十五日
×達州丸　七月廿五日　後五時出
×天智丸　七月廿一日

○鎮南浦、群山、神戸、大阪行
×漳州丸　七月十四日　後二時出

○木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行
×信濃川丸　七月廿二日
×信濃川丸　八月九日　後二時出

○南浦、關門、神戸、大阪行
×須磨丸　七月十八日　後二時出

○鎮南浦、大連行
×信濃川丸　七月十七日
×信濃川丸　八月四日　後二時出

○南浦大連行
△日米丸　七月廿五日
×福州丸　七月十四日　正午出帆

○群山、神戸、大阪行
宮島丸　月　日　後五時出

○群山、釜山、横濱行
福州丸　七月十八日
日米丸　七月卅一日　後二時出

○南津、浦鹽行（元山出帆）
△印ハ城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港
安平丸　七月十八日
△宮島丸　七月廿四日　後二時出

○上海、基隆、打狗行（大連出帆）
基隆丸　七月二十日　後四時出
城津丸　七月卅一日　前六時出

御注意　○外國航路及び南滿州鐵道會社との聯絡運輸切符發賣仕候○御乘船客は本船出帆一時間前に御來店被下度候○×印は一等客御斷り△印は乘客御斷り

切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二二番二二一番
京城切符發賣所　内國通運會社支店　電話七〇八番
▲中國四國沿岸各港行船客に對し五分割引門司乘換を以て連絡乘車切符發賣仕候